

# 平成 31 年・令和元年の議会活動

調 布 市 議 会

## 目 次

1 会期日程	6 研修会・大会の開催状況	29
(1) 第1回定例会	7 行政視察の実施状況	29
(2) 第2回定例会	8 市長の基本的施策に対する	
(3) 第3回定例会	代表質問・質問	30
(4) 第4回定例会	9 市長所信表明(要旨)	33
2 議案等付議した事件	10 一般質問(通告内容)	
3 審議した案件と議員の態度	(1) 第1回定例会	35
(1) 第1回定例会	(2) 第2回定例会	36
(2) 第2回定例会	(3) 第3回定例会	42
(3) 第3回定例会	(4) 第4回定例会	46
(4) 第4回定例会	11 傍聴	52
4 常任委員会・議会運営委員会・特別委員	12 インターネットサービスアクセス数	
会の開催状況	(1) 本会議及び各委員会生中継	53
(1) 総務委員会	(2) 本会議及び各委員会録画	53
(2) 文教委員会	(3) 会議録検索システム	53
(3) 厚生委員会	13 市議会だより発行状況	54
(4) 建設委員会	14 議場コンサート	54
(5) 議会運営委員会	15 議会報告会	54
(6) 広域交通問題等対策特別委員会	16 会派別所属議員名簿	55
(7) 調布飛行場等対策特別委員会	17 議会関係各種委員等名簿	
(8) 中心市街地基盤整備等特別委員会	(令和元年6月17日時点)	56
5 協議または調整の会議の開催状況	【資料】 意見書・決議集	59
(1) 全員協議会		28
(2) 広報委員会		28

※5月1日の改元に伴い、  
第1回定例会は「平成31年」、  
第2回～4回定例会は「令和元年」  
の元号名となります。

# 1 会期日程

## (1) 第1回定例会

(会期26日間)

月 日	曜	本会議の開閉	摘 要
平成31年 3月1日	金	午前9時09分 ～午前10時31分	開 会 会議録署名議員の指名・会期の決定 市長報告（専決処分の報告） 市長提出議案上程（平成30年度関係一委員会付託） 平成31年度における基本的施策（市長） ※委員長会議
3月4日	月		常任委員会（総務・文教・厚生・建設の各委員会）
3月5日	火		一般質問準備日
3月6日	水	午前9時09分 ～午前9時24分	市長提出議案上程（平成30年度関係一委員長報告・ 討論・採決）
3月7日	木	午前9時10分 ～午後5時30分	基本的施策に対する代表質問
3月8日	金	午前9時09分 ～午後0時43分	基本的施策に対する質問 市長提出議案上程（質疑・委員会付託） 陳情上程（委員会付託） ※委員長会議
3月11日	月	午前9時09分 ～午後0時15分	市政に関する一般質問（3人）
3月12日	火		委員会準備日
3月13日	水		常任委員会（総務・文教・厚生・建設の各委員会）
3月14日	木		常任委員会（総務・文教・厚生・建設の各委員会）
3月15日	金		常任委員会（総務・文教・厚生・建設の各委員会）
3月18日	月		常任委員会（総務・建設の各委員会）
3月19日	火		※意見書・決議案締め切り
3月20日	水		議会運営委員会
3月22日	金		本会議準備日
3月25日	月		本会議準備日
3月26日	火	午前9時09分 ～午後3時30分	市長提出議案上程（委員長報告・討論・採決） 市長提出議案上程（委員会付託） 休憩中 委員会審査（総務委員会） 市長提出議案上程（委員長報告・討論・採決） （即決） 陳情上程（委員長報告・採決） 議員提出議案上程（即決） 諸報告 閉 会

## (2) 第2回定例会

(会期20日間)

月 日	曜	本会議の開閉	摘 要
令和元年 6月14日	金	午前9時09分 ～午後3時01分	開 会 会議録署名議員の指名・会期の決定
6月17日	月	午前9時09分 ～午後3時59分	正副議長の選挙及び議会役員構成 議員提出議案上程（即決） 市長報告（専決処分の報告等）（質疑） 市長提出議案上程（即決） 市長提出議案上程（質疑・委員会付託） 陳情上程（委員会付託） ※委員長会議
6月18日	火		一般質問準備日
6月19日	水	午前9時09分 ～午後4時11分	市政に関する一般質問（6人）
6月20日	木	午前9時09分 ～午後4時17分	市政に関する一般質問（6人）
6月21日	金	午前9時09分 ～午後4時24分	市政に関する一般質問（6人）
6月24日	月	午前9時08分 ～午前11時12分	市政に関する一般質問（2人）
6月25日	火		委員会準備日
6月26日	水		常任委員会（総務・文教・厚生・建設の各委員会）
6月27日	木		※意見書・決議案締め切り
6月28日	金		議会運営委員会
7月1日	月		本会議準備日
7月2日	火		本会議準備日
7月3日	水	午前9時09分 ～午前11時43分	市長提出議案上程（委員長報告・討論・採決） （即決） 陳情上程（委員長報告・採決） 議員提出議案上程（即決） 諸報告 閉 会

## (3) 第3回定例会

(会期18日間)

月 日	曜	本会議の開閉	摘 要
令和元年 9月3日	火	午前9時10分 ～午前10時37分	開 会 会議録署名議員の指名・会期の決定 市長報告（健全化判断比率等の報告） 市長提出議案上程（質疑・委員会付託） 陳情上程（委員会付託） ※委員長会議
9月4日	水		一般質問準備日
9月5日	木	午前9時09分 ～午後4時14分	市政に関する一般質問（6人）
9月6日	金	午前9時19分 ～午後5時25分	市政に関する一般質問（7人）
9月9日	月		委員会準備日
9月10日	火		常任委員会（総務・文教・厚生・建設の各委員会）
9月11日	水		常任委員会（総務・文教・厚生・建設の各委員会）
9月12日	木		常任委員会（総務・文教・厚生・建設の各委員会）
9月13日	金		常任委員会（総務・文教・厚生・建設の各委員会） ※意見書・決議案締め切り
9月17日	火		議会運営委員会
9月18日	水		本会議準備日
9月19日	木		本会議準備日
9月20日	金	午前9時09分 ～午後0時21分	市長提出議案上程（委員長報告・討論・採決） 陳情上程（委員長報告・採決） 議員提出議案上程（即決） 諸報告 閉 会

## (4) 第4回定例会

(会期20日間)

月 日	曜	本会議の開閉	摘 要
令和元年 11月29日	金	午前10時00分 ～午前11時26分	開 会 会議録署名議員の指名・会期の決定 市長報告（専決処分の報告） 市長提出議案上程（委員会付託） 休憩中 委員会審査（総務委員会） 市長提出議案上程（委員長報告・討論・採決） 市長提出議案上程（委員会付託） 陳情上程（委員会付託） ※委員長会議
12月2日	月		一般質問準備日
12月3日	火	午前9時11分 ～午後4時17分	市政に関する一般質問（6人）
12月4日	水	午前9時10分 ～午後4時15分	市政に関する一般質問（6人）
12月5日	木	午前9時10分 ～午後4時36分	市政に関する一般質問（6人）
12月6日	金	午前9時10分 ～午前10時43分	市政に関する一般質問（2人）
12月9日	月		委員会準備日
12月10日	火		常任委員会（総務・文教・厚生・建設の各委員会）
12月11日	水		
12月12日	木		※意見書・決議案締め切り
12月13日	金		議会運営委員会
12月16日	月		本会議準備日
12月17日	火		本会議準備日
12月18日	水	午前9時11分 ～午後0時21分	市長提出議案上程（委員長報告・討論・採決） 市長提出議案上程（質疑・委員会付託） 休憩中 委員会審査（総務・建設委員会） 市長提出議案上程（委員長報告・討論・採決） （即決） 陳情上程（委員長報告・採決） 議員提出議案上程（即決） 諸報告 閉 会

2 議案等付議した事件

(単位：件)

	市長提出議案						議員提出議案			委員会提出議案			請願	陳情
	条例	予算	決算	契約	人事	その他	条例等	意見書	決議	条例等	意見書	決議		
第1回定例会	5	12	0	0	20	2	0	5	0	0	0	0	0	7 (0)
第2回定例会	6	1	0	1	1	8	3	6	0	0	1	0	0	10 (0)
第3回定例会	11	6	6	0	0	4	1	5	1	0	0	0	0	6 (1)
第4回定例会	7	5	0	2	0	4	0	6	0	0	0	0	0	3 (0)
合計	29	24	6	3	21	18	4	22	1	0	1	0	0	26 (1)

※ 括弧内は、件数のうち、継続審査として付議したもの

3 審議した案件と議員の態度

(1) 第1回定例会

		自…自由民主党創政会 (10人)										チ…チャレンジ調布21 (6人)					公…公明党 (5人)												
		共…日本共産党 (3人)					元…元気派市民の会 (1人)					生…生活者ネットワーク (1人)																	
		社…社会民主党 (1人)																											
議案番号等	件名	結果	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	チ	チ	チ	チ	チ	公	公	公	公	公	共	共	共	元	生	社	
			渡	小	伊	大	大	狩	鈴	田	林	元	丸	清	井	川	広	宮	小	平	須	橋	内	雨	岸	武	大	二	櫛
		郎 夫 学 裕 司 彦 貴 和 裕 勇 美 恵 志 樹 子 実 之 充 子 俊 子 男 子 里 子 子 子																											
〈態度の分かれた市長提出議案〉		○…賛成 ×…反対 議…議長(採決には加わらない)																											
10	調布市乳幼児及び義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	平成31年度調布市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〈議員提出議案〉		○…賛成 ×…反対 議…議長(採決には加わらない)																											
1	統計調査の不正問題の徹底究明を求める意見書提出について (提出者 岸本直子)	否決	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		
2	沖縄県の辺野古新基地建設問題を、国民全体の問題として議論をすることを求める意見書提出について (提出者 二宮陽子)	否決	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		
3	食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書提出について (提出者 須山妙子)	可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書提出について (提出者 内藤美貴子)	可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

議案番号等	件名	結果	自	自	自	自	自	自	自	自	自	子	子	子	子	子	公	公	公	公	公	共	共	共	元	生	社
			渡	小	伊	大	大	狩	鈴	田	林	元	丸	清	井	川	広	宮	小	平	須	橋	内	雨	岸	武	大
			進	林	藤	須	野	野	木	中	明	木	田	水	上	畑	本	野	山	正	藤	宮	本	藤	河	宮	榑
			二	充	学	賀	祐	明	宗	久	勇	美	仁	耕	英	和	市	充	妙	俊	美	幸	直	千	已	陽	志
			郎	夫	裕	浩	彦	貴	和	裕	美	恵	志	樹	子	実	之	子	子	子	子	男	子	里	子	子	子
〈議員提出議案〉			○…賛成 ×…反対 議…議長(採決には加わらない)																								
5	UR賃貸住宅ストックの活用を求める意見書提出について (提出者 平野 充)	可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〈請願・陳情〉			○…採択 □…趣旨採択 ×…不採択 △…継続審査 議…議長(採決には加わらない)																								
陳99	「人権基本条例」制定の検討開始を求める陳情	審議未了																									
陳100	教職員の「働き方改革」に関する意見書の提出を求める陳情	審議未了																									
陳101	地方自治体における自衛官募集の取り扱いに関する陳情	審議未了																									
陳102	消費税10%中止を政府に求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	議	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○
陳103	75歳以上の医療費窓口負担を2割にしないよう国に意見書を上げること を求める陳情	審議未了																									
陳104	グループホーム調布の住環境の問題に関する陳情	継続審査	×	×	×	×	×	×	議	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
陳105	実効性のある受動喫煙防止の施策の推進を求める陳情	継続審査	□	□	□	□	□	□	議	□	□	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	

●陳情第99号から101号及び第103号は、委員会審査において趣旨採択、採択、不採択に意見が分かれ、いずれも過半数に達しないため結論を得ず審議未了となりました。

〈満場一致で可決した市長提出議案〉			
1	平成30年度調布市一般会計補正予算（第3号）	3	平成30年度調布市用地特別会計補正予算（第1号）
2	平成30年度調布市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	4	平成30年度調布市下水道事業特別会計補正予算（第3号）

〈満場一致で可決した市長提出議案〉			
5	平成30年度調布市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	17	平成31年度調布市介護保険事業特別会計予算
6	平成30年度調布市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	18	平成31年度調布市後期高齢者医療特別会計予算
7	調布市受動喫煙防止条例	19	調布市農業委員会委員の任命について （伊藤 義治氏，井上 一郎氏，井上 眞一氏，榎本 弘行氏， 萩本 末子氏，小野 一弘氏，川端 宏志氏，熊井 守氏， 杉崎 一三六氏，鈴木 正勝氏，関口 博昭氏，瀧柳 正明氏， 富澤 保夫氏，野口 達也氏，鳩山 隆史氏，原 勇氏， 土方 清一氏，元木 幹夫氏，森田 晃章氏，吉井 美華子氏）
8	調布市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例		
9	調布市手数料条例の一部を改正する条例		
11	調布市下水道条例の一部を改正する条例		
12	市道路線の廃止について		
14	平成31年度調布市国民健康保険事業特別会計予算		
15	平成31年度調布市用地特別会計予算	38	
16	平成31年度調布市下水道事業特別会計予算	39	所有権確認等請求事件に関する和解について

●市長提出議案第1号から6号及び第12号は3月6日，その他の案件は3月26日に議決しました。

〈市長報告〉	
報1	専決処分の報告について（市が管理する市庁舎駐輪場内の看板が倒れたことにより人身に損害を与えた事故について，損害賠償額が決定したもの）

(2) 第2回定例会

		自…自由民主党創政会（8人）								チ…チャレンジ調布21（6人）					公…公明党（5人）					共…日本共産党（4人）				社…社会民主党（1人）		生…生活者ネットワーク（1人）		維…日本維新の会（1人）		次…次世代・調布（1人）		未…調布の未来を創る会（1人）						
議案番号等	件名	結 果	自	自	自	自	自	自	自	チ	チ	チ	チ	チ	チ	公	公	公	公	公	共	共	共	共	社	生	維	次	未									
			鈴木宗貴	狩野明彦	伊藤学	大須賀浩裕	大野祐司	林明裕	元木勇	自渡辺進二郎	井上耕志	清水仁恵	川畑英樹	西谷徹	丸田絵美	宮本和実	小平野	須山妙子	橋正俊	内藤美貴子	雨宮幸男	武藤千里	岸本直子	共坂内淳	榎原登志子	生木下安子	維澤井慧	次阿部草太	未古川陽菜									
<b>&lt;議員提出議案&gt;</b>			○…賛成    ×…反対    議…議長(採決には加わらない)																																			
6	広域交通問題等対策特別委員会設置について (提出者 鈴木宗貴)	可 決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	調布飛行場等対策特別委員会設置について (提出者 鈴木宗貴)	可 決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	中心市街地基盤整備等特別委員会設置について (提出者 鈴木宗貴)	可 決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書提出について (提出者 狩野明彦)	可 決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	国会における憲法論議の推進と広く国民的議論の喚起を求める意見書提出について (提出者 大野祐司)	可 決	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	年金制度の充実を求める意見書提出について (提出者 岸本直子)	否 決	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

議案 番号等	件 名	結 果	自	自	自	自	自	自	自	チ	チ	チ	チ	チ	チ	公	公	公	公	公	共	共	共	共	社	生	維	次	未	
			鈴木 宗貴	狩野 明彦	伊藤 学	大須賀 浩裕	大野 祐司	林明 裕	元木 勇	渡辺 進二 郎	井上 耕志	清水 仁恵	川畑 英樹	西谷 徹	丸田 絵美	宮本 和実	小林 市之	平野 充	須山 妙子	橋正 俊	内藤 美貴 子	共雨 宮幸 男	共武 藤千 里	共岸 本直 子	共坂 内淳	社神 原登 志子	生木 下安 子	維澤 井慧	次阿 部草 太	未古 川陽 菜
<b>&lt;議員提出議案&gt;</b>			○…賛成    ×…反対    議…議長(採決には加わらない)																											
12	児童虐待防止対策のさらなる強化を 求める意見書提出について (提出者 須山妙子)	可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	選択的夫婦別姓制度の審議を求める 意見書提出について (提出者 内藤美貴子)	可決	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	公的年金制度に関する正確な情報発 信を求める意見書提出について (提出者 平野 充)	否決	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
<b>&lt;委員会提出議案&gt;</b>			○…賛成    ×…反対    議…議長(採決には加わらない)																											
1	交通運賃割引制度に関する意見書提 出について	可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
<b>&lt;請願・陳情&gt;</b>			○…採択    □…趣旨採択    ×…不採択    △…継続審査    議…議長(採決には加わらない)																											
陳1	実効性のある受動喫煙防止の施策の 推進を求める陳情	継続審査	△	△	△	△	△	△	議	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
陳2	鬼太郎ひろば利用者を大気汚染によ る健康被害から守る施策の推進を求 める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	□	□	□	□	×	□	×	×	×	
陳3	交通運賃割引制度に関する意見書の 提出を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳4	不誠実な陳情審査を改めることを求 める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	□	□	□	□	×	□	×	×	×	
陳5	沖縄県民投票の結果を尊重し対話に よる解決を求める意見書提出に関す る陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	

議案番号等	件名	結果	自	自	自	自	自	自	自	自	チ	チ	チ	チ	チ	チ	公	公	公	公	公	共	共	共	共	社	生	維	次	未
			鈴木宗貴	狩野明彦	伊藤学	大須賀浩裕	大野祐司	林明裕	元木勇	渡辺進二	井上耕志	清水仁恵	川畑英樹	西谷徹	丸田絵美	宮本和実	小林市之	平野充	須山妙子	橘正俊	内藤美貴子	雨宮幸男	武藤千里	岸本直子	坂内淳	榊原登志子	木下安子	澤井慧	阿部草太	古川陽菜

<請願・陳情> ○…採択 □…趣旨採択 ×…不採択 △…継続審査 議…議長(採決には加わらない)

陳6	土砂投入即時中止・辺野古新基地建設断念の意見書を政府に提出することを求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
陳7	地方自治体における自衛官募集の取り扱いに関する陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
陳8	米軍基地の負担の軽減と日米地位協定の見直しを求める国に対する意見書の採択を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
陳9	グループホーム調布の住環境の問題に関する陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	□	□	□	□	□	×	□	×	□	×	
陳10	灰皿設置者に対する意識に関する陳情	採 択	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

<満場一致で承認・可決した市長提出議案>

40	専決処分の承認について（調布市税賦課徴収条例等の一部改正）	48	調布市公衆便所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
41	専決処分の承認について（調布市都市計画税賦課徴収条例の一部改正）	49	調布市環境基本条例の一部を改正する条例
		50	調布市専用水道の水道技術管理者の資格に関する条例の一部を改正する条例
42	専決処分の承認について（調布市国民健康保険税賦課徴収条例の一部改正）	51	市道路線の認定及び廃止について
		52	市道路線の廃止について
43	専決処分の承認について（調布市介護保険条例の一部改正）	53	市道路線の廃止及び一部廃止について
44	令和元年度調布市一般会計補正予算（第1号）	54	財産の取得について
45	調布市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	55	調布市監査委員の選任について（小林 市之）
46	調布市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	56	調布市立富士見町学童クラブ（仮称）新築工事請負契約
47	調布市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		

●議員提出議案第6号から第8号，市長提出議案第40号から第43号及び第55号は6月17日，その他の案件は7月3日に議決しました。

〈市長報告〉	
報2	専決処分の報告について（市が管理する樹木の枯枝が落下したことにより人身に損害を与えた事故について，損害賠償額が決定したもの）
報3	専決処分の報告について（市が管理する市庁舎駐輪場内の看板が倒れたことにより人身に損害を与えた事故について，損害賠償額が決定したもの）
報4	一般財団法人調布市市民サービス公社の経営状況について（平成30年度収支決算及び令和元年度事業計画）
報5	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団の経営状況について（平成30年度収支決算及び令和元年度事業計画）
報6	公益社団法人調布市体育協会の経営状況について（平成30年度収支決算及び令和元年度事業計画）
報7	公益財団法人調布ゆうあい福祉公社の経営状況について（平成30年度収支決算及び令和元年度事業計画）
報8	調布市土地開発公社の経営状況について（平成30年度収支決算及び令和元年度事業計画）
報9	一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の経営状況について（平成30年度収支決算及び令和元年度事業計画）
報10	平成30年度調布市繰越明許費繰越計算書について（平成30年度内未完了の一般会計における都市計画費などについて，令和元年度に繰り越したもの）
報11	平成30年度調布市繰越明許費繰越計算書について（平成30年度内未完了の下水道事業特別会計における管渠（かんきょ）整備費について，令和元年度に繰り越したもの）
報12	平成30年度調布市事故繰越し繰越計算書について（平成30年度内未完了の一般会計における都市計画費について，令和元年度に繰り越したもの）
報13	平成30年度調布市事故繰越し繰越計算書について（平成30年度内未完了の下水道事業特別会計における管渠（かんきょ）整備費について，令和元年度に繰り越したもの）



議案番号等	件名	結果	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	公	公	公	公	公	共	共	共	共	社	生	維	次	未		
			鈴木宗貴	狩野明彦	伊藤学	大須賀浩裕	大野祐司	林明裕	元木勇	渡辺進二	井上耕志	清水仁恵	川畑英樹	西谷徹	丸田絵美	宮本和実	小林市之	平野充	須山妙子	橘正俊	内藤美貴子	共雨宮幸男	共武藤千里	共岸本直子	共坂内淳	社榑原登志子	生木下安子	維澤井慧	次阿部草太	未古川陽菜
<b>&lt;議員提出議案&gt;</b>			○…賛成    ×…反対    —…退席    議…議長(採決には加わらない)																											
18	都営住宅居住者の修繕負担区分見直しについての意見書提出について (提出者 武藤千里)	否決	×	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×
19	幼児教育・保育の無償化に伴う給食食材料費の保護者負担軽減への東京都の支援を求める意見書提出について (提出者 武藤千里)	可決	×	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
20	天皇陛下御即位に関する賀詞決議 (提出者 鈴木宗貴)	可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○	×	○	○	○
21	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書提出について (提出者 鈴木宗貴)	可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○
<b>&lt;請願・陳情&gt;</b>			○…採択    □…趣旨採択    ×…不採択    議…議長(採決には加わらない)																											
陳1	実効性のある受動喫煙防止の施策の推進を求める陳情	趣旨採択	□	□	□	□	□	□	□	議	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
陳11	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情	審議未了																												
陳12	在日コリアンに地方参政権を付与することを求める陳情	審議未了																												
陳13	戦前から在住する「在日」コリアンとその子孫の地方参政権を認める法的措置を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×

議案番号等	件名	結果	自	自	自	自	自	自	自	チ	チ	チ	チ	チ	公	公	公	公	公	共	共	共	共	社	生	維	次	未	
			鈴木	狩野	伊藤	大須賀	大野	小林	元木	渡辺	井上	清水	川畑	西谷	丸田	宮本	小林	平野	須山	橋正	内藤	雨宮	武藤	岸本	坂内	榑原	木下	澤井	阿部
			宗貴	明彦	学	浩裕	祐司	明裕	勇	進二	耕志	仁恵	英樹	絵美	和実	市之	充	妙子	俊	貴子	幸男	千里	直子	淳	登志子	安子	慧	草太	陽菜
<請願・陳情>			○…採択 □…趣旨採択 ×…不採択 議…議長(採決には加わらない)																										
陳14	バス会社各社への運行ダイヤの拡充を要請することを求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳15	武道場設置についての陳情	趣旨採択	□	□	□	□	□	□	□	議	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	

●陳情第11号及び第12号は、委員会審査において趣旨採択、採択、不採択に意見が分かれ、いずれも過半数に達しないため結論を得ず審議未了となりました。

<満場一致で認定・可決した市長提出議案>		
58	平成30年度調布市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	70 調布市表彰条例の一部を改正する条例
		73 調布市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
59	平成30年度調布市用地特別会計歳入歳出決算の認定について	74 調布市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
60	平成30年度調布市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	75 調布市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例
		76 調布市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
61	平成30年度調布市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	77 調布市立保育園条例の一部を改正する条例
		78 調布市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例
62	平成30年度調布市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	79 調布市消防団に関する条例の一部を改正する条例
64	令和元年度調布市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	80 市道路線の認定について
65	令和元年度調布市用地特別会計補正予算(第1号)	
66	令和元年度調布市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	81 市道路線の認定について
67	令和元年度調布市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	
68	令和元年度調布市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	82 市道路線の廃止について
69	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	

●全ての案件は9月20日に議決しました。

<市長報告>

報14 健全化判断比率等について（平成30年度の各指標とも早期健全化基準等を下回っており，財政収支が不均衡な状況などは認められなかった。）



議案番号等	件名	結果	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	公	公	公	公	公	共	共	共	共	社	生	維	次	未		
			鈴木	狩野	伊藤	大須賀	大野	林	元木	渡辺	井上	清水	川畑	西谷	丸田	宮本	小林	平野	須山	橋	内藤	雨宮	武藤	岸本	坂内	榑原	木下	澤井	阿部	古川
<b>&lt;議員提出議案&gt;</b>			○…賛成 ×…反対 議…議長(採決には加わらない)																											
23	福島第一原発における処理水（トリチウム水）の処分方法について科学的根拠に基づき建設的な議論を求める意見書提出について (提出者 澤井 慧)	否決	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
24	東京都での公立学校教員への「1年単位の变形労働時間制」導入をしないことを求める意見書提出について (提出者 武藤千里)	否決	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	
25	「桜を見る会」問題の真相究明を求める意見書提出について (提出者 岸本直子)	否決	×	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×
26	「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書提出について (提出者 橋 正俊)	可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	柔軟仕上げ剤などに含まれる香料の成分表示などを求める意見書提出について (提出者 木下安子)	可決	×	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
<b>&lt;請願・陳情&gt;</b>			○…採択 □…趣旨採択 ×…不採択 議…議長(採決には加わらない)																											
陳16	質の高い保育を確保するために公的責任を果たすことを求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×		
陳17	幼児教育・保育の無償化に伴う、認可保育園給食実費の徴収免除を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×		

議案番号等	件名	結果	自	自	自	自	自	自	自	自	チ	チ	チ	チ	チ	チ	公	公	公	公	公	共	共	共	共	社	生	維	次	未	
			鈴木	狩野	伊藤	大須賀	大野	林	元木	渡辺	井上	清水	川畑	西谷	丸田	宮本	小林	平野	須山	橋	内藤	雨宮	武藤	岸本	坂内	榑原	木下	澤井	阿部	古川	
			宗貴	明彦	学	浩裕	祐司	明裕	勇	耕志	仁恵	英樹	繪美	和実	市之	充	須山	正俊	藤美貴	幸男	千里	直子	淳	登志	安子	慧	草太	陽菜			
〈請願・陳情〉			○…採択    □…趣旨採択    ×…不採択    議…議長(採決には加わらない)																												
陳18	児童館の民間委託に関する陳情	趣旨採択	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	議	<input type="checkbox"/>																				

〈満場一致で承認・可決した市長提出議案〉			
84	令和元年度調布市一般会計補正予算（第3号）	94	市道路線の認定について
86	令和元年度調布市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	95	市道路線の廃止について
87	令和元年度調布市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	96	市道路線の廃止について
88	令和元年度調布市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	97	令元下水道長寿命化対策工事（その4）請負契約
92	調布市立自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	100	調布市市庁舎免震改修工事請負契約の一部を変更する契約
		101	物損事故に関する損害賠償の額の決定について
93	調布市下水道条例の一部を改正する条例		

●市長提出議案第84号は11月29日、その他の案件は12月18日に議決しました。

〈市長報告〉	
報15	専決処分の報告について（市職員が荷物の運搬作業中に物件に損害を与えた事故について、損害賠償額が決定したもの）

4 常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の開催状況

(1) 総務委員会

	日 程	会議に付した案件及び結果
1 定	平成31年 3月 4日	議案(平成30年度調布市一般会計補正予算(第3号))を審査し、原案了承と決定した。
	平成31年 3月13日	議案(調布市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例)を審査し、原案了承と決定した。また、議案(平成31年度調布市一般会計予算)を審査した。
	平成31年 3月14日	議案(平成31年度調布市一般会計予算)を審査した。
	平成31年 3月15日	議案(平成31年度調布市一般会計予算)を審査した。
	平成31年 3月18日	議案(平成31年度調布市一般会計予算)を審査し、原案了承と決定した。また、「「人権基本条例」制定の検討開始を求める陳情」及び「地方自治体における自衛官募集の取り扱いに関する陳情」を審査し、審査未了と決定した。また、「消費税10%中止を政府に求める陳情」を審査し、不採択と決定した。
	平成31年 3月26日	議案(所有権確認等請求事件に関する和解について)を審査し、原案了承と決定した。
2 定	令和元年 6月17日	正副委員長の互選 委員会の構成(元. 6.17 ~ ) ◎委員長 ○副委員長 ◎鈴木 宗貴 ○清水 仁恵 雨宮 幸男 大須賀浩裕 榊原登志子 橘 正俊 渡辺進二郎
	令和元年 6月26日	議案(調布市税賦課徴収条例の一部を改正する条例、ほか3件)を審査し、原案了承と決定した。また、「沖縄県民投票の結果を尊重し対話による解決を求める意見書提出に関する陳情」、「土砂投入即時中止・辺野古新基地建設断念の意見書を政府に提出することを求める陳情」、「地方自治体における自衛官募集の取り扱いに関する陳情」及び「米軍基地の負担の軽減と日米地位協定の見直しを求める国に対する意見書の採択を求める陳情」を審査し、不採択と決定した。
3 定	令和元年 9月10日	議案(地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例、ほか7件)を審査し、原案了承と決定した。また、議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について)を審査した。
	令和元年 9月11日	議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について)を審査した。
	令和元年 9月12日	議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について)を審査した。
	令和元年 9月13日	議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について)を審査し、原案認定と決定した。また、「在日コリアンに地方

		参政権を付与することを求める陳情」及び「辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情」を審査し、審査未了と決定した。また、「戦前から在住する「在日」コリアンとその子孫の地方参政権を認める法的措置を求める陳情」を審査し、不採択と決定した。
4 定	令和元年11月29日	議案(令和元年度調布市一般会計補正予算(第3号))を審査し、原案了承と決定した。
	令和元年12月10日	議案(アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の賦課徴収の特例に関する条例の一部を改正する条例, ほか1件)を審査し、原案了承と決定した。
	令和元年12月18日	議案(調布市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例, ほか1件)を審査し、原案了承と決定した。

(2) 文教委員会

	日 程	会議に付した案件及び結果
1 定	平成31年 3月 4日	議案(平成30年度調布市一般会計補正予算(第3号))を審査し、原案了承と決定した。
	平成31年 3月13日	議案(平成31年度調布市一般会計予算)を審査した。
	平成31年 3月14日	議案(平成31年度調布市一般会計予算)を審査した。
	平成31年 3月15日	議案(平成31年度調布市一般会計予算)を審査し、原案了承と決定した。また、「教職員の「働き方改革」に関する意見書の提出を求める陳情」を審査し、審査未了と決定した。
2 定	令和元年 6月17日	正副委員長の互選 委員会の構成(元. 6.17 ~ ) ◎委員長 ○副委員長 ◎狩野 明彦 ○岸本 直子 大野 祐司 川畑 英樹 須山 妙子 古川 陽菜 宮本 和実
	令和元年 6月26日	議案(令和元年度調布市一般会計補正予算(第1号))を審査し、原案了承と決定した。
3 定	令和元年 9月10日	議案(令和元年度調布市一般会計補正予算(第2号))を審査し、原案了承と決定した。また、議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について)を審査した。
	令和元年 9月11日	議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について)を審査した。
	令和元年 9月12日	議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について)を審査した。
	令和元年 9月13日	議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について)を審査し、原案認定と決定した。また、「武道場設置についての陳情」を審査し、趣旨採択と決定した。
4 定	令和元年12月10日	議案(調布市八ヶ岳少年自然の家条例の一部を改正する条例、ほか1件)を審査し、原案了承と決定した。

(3) 厚生委員会

	日 程	会議に付した案件及び結果
1 定	平成31年 3月 4日	議案(平成30年度調布市一般会計補正予算(第3号), ほか3件)を審査し, 原案了承と決定した。
	平成31年 3月13日	議案(調布市乳幼児及び義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例, ほか1件)を審査し, 原案了承と決定した。また, 議案(平成31年度調布市一般会計予算)を審査した。
	平成31年 3月14日	議案(平成31年度調布市一般会計予算)を審査し, 原案了承と決定した。
	平成31年 3月15日	議案(平成31年度調布市国民健康保険事業特別会計予算, ほか2件)を審査し, 原案了承と決定した。また, 陳情3件を審査し, 「75歳以上の医療費窓口負担を2割にしないよう国に意見書を上げることを求める陳情」は結論に至らず審査未了となり, 「グループホーム調布の住環境の問題に関する陳情」及び「実効性のある受動喫煙防止の施策の推進を求める陳情」は継続審査と決定した。
2 定	令和元年 6月17日	正副委員長の互選 委員会の構成(元. 6.17 ~ ) ◎委員長 ○副委員長 ◎平野 充 ○元木 勇 小林 市之 澤井 慧 西谷 徹 林 明裕 武藤 千里
	令和元年 6月26日	議案(調布市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例, ほか1件)を審査し, 原案了承と決定した。また, 陳情4件を審査し, 「実効性のある受動喫煙防止の施策の推進を求める陳情」は継続審査と決定, 「交通運賃割引制度に関する意見書の提出を求める陳情」及び「灰皿設置者に対する意識に関する陳情」は採択と決定, 「グループホーム調布の住環境の問題に関する陳情」は不採択と決定した。
閉 会 中	令和元年 8月21日	「実効性のある受動喫煙防止の施策の推進を求める陳情」を審査し, 趣旨採択と決定した。
3 定	令和元年 9月10日	議案(調布市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例, ほか6件)を審査し, 原案了承と決定した。また, 議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について)を審査した。
	令和元年 9月11日	議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について)を審査した。
	令和元年 9月12日	議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について)

		を審査し，原案認定と決定した。
	令和元年 9月13日	議案(平成30年度調布市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について，ほか2件)を審査し，原案認定と決定した。
4 定	令和元年12月10日	議案(令和元年度調布市一般会計補正予算(第4号)，ほか2件)を審査し，原案了承と決定した。また，陳情3件を審査し，「質の高い保育を確保するために公的責任を果たすことを求める陳情」及び「幼児教育・保育の無償化に伴う，認可保育園給食実費の徴収免除を求める陳情」は不採択と決定，「児童館の民間委託に関する陳情」は趣旨採択と決定した。

(4) 建設委員会

	日 程	会議に付した案件及び結果
1 定	平成31年 3月 4日	議案(市道路線の廃止について、ほか3件)を審査し原案了承と決定した。
	平成31年 3月13日	議案(調布市手数料条例の一部を改正する条例、ほか1件)を審査し、原案了承と決定した。また、議案(平成31年度調布市一般会計予算)を審査した。
	平成31年 3月14日	議案(平成31年度調布市一般会計予算)を審査した。
	平成31年 3月15日	議案(平成31年度調布市一般会計予算)を審査し、原案了承と決定した。
	平成31年 3月18日	議案(平成31年度調布市用地特別会計予算、ほか1件)を審査し、原案了承と決定した。
2 定	令和元年 6月17日	正副委員長の互選 委員会の構成(元. 6.17 ~ ) ◎委員長 ○副委員長 ◎丸田 絵美 ○内藤美貴子 阿部 草太 伊藤 学 井上 耕志 木下 安子 坂内 淳
	令和元年 6月26日	議案(市道路線の認定及び廃止について、ほか5件)を審査し、原案了承と決定した。また、「鬼太郎ひろば利用者を大気汚染による健康被害から守る施策の推進を求める陳情」を審査し、不採択と決定した。
3 定	令和元年 9月10日	議案(市道路線の認定について、ほか7件)を審査し、原案了承と決定した。また、議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について)を審査した。
	令和元年 9月11日	議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について)を審査した。
	令和元年 9月12日	議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について)を審査した。
	令和元年 9月13日	議案(平成30年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について、ほか2件)を審査し、原案認定と決定した。また、「バス会社各社への運行ダイヤの拡充を要請することを求める陳情」を審査し、採択と決定した。
4 定	令和元年12月10日	議案(市道路線の認定について、ほか7件)を審査し、原案了承と決定した。
	令和元年12月18日	議案(物損事故に関する損害賠償の額の決定について)を審査し、原案了承と決定した。

(5) 議会運営委員会

日 程	会議に付した案件及び結果
平成31年 1月10日	議会改革に関する協議事項(議会基本条例規定事項の検証)について、協議・検証終了し、同協議事項(議会選出監査委員)について、協議した。
平成31年 2月27日	第1回定例会の議事日程(案)等について、ほか1件を協議・決定した。また、議会改革に関する協議事項(議会選出監査委員)及びインターネット中継の録画映像配信期間について、協議した。
平成31年 3月20日	第1回定例会再開の議事日程(案)等について、ほか3件を協議・決定した。また、地方税法の改正について、了承した。また、議会改革に関する協議事項(議会選出監査委員)及びインターネット中継の録画映像配信期間について、協議・決定した。
平成31年 3月29日	専決処分について、協議・決定した。
令和元年 6月17日	正副委員長の互選 委員会の構成(元. 6.17 ~ ) ◎委員長 ○副委員長 ◎大須賀浩裕 ○小林 市之 雨宮 幸男 井上 耕志 鈴木 宗貴
令和元年 6月17日	これからの議事日程等について、ほか1件を協議・決定した。
令和元年 6月28日	「不誠実な陳情審査を改めることを求める陳情」を審査し、不採択と決定した。また、第2回定例会再開の議事日程(案)等について、ほか1件を協議・決定した。
令和元年 8月30日	第3回定例会の議事日程(案)等について、ほか1件を協議・決定した。また、議会改革等に関する協議事項(議会運営におけるICT活用, ほか2件)について、協議した。
令和元年 9月17日	第3回定例会再開の議事日程(案)等について、ほか1件を協議・決定した。また、議会改革等に関する協議事項(議会運営におけるICT活用, ほか1件)について、協議した。
令和元年10月16日	議会改革等に関する協議事項(議会運営におけるICT活用, ほか1件)について、協議した。
令和元年10月23日	議会改革等に関する協議事項(議会運営におけるICT活用, ほか1件)について、協議した。
令和元年11月21日	議会改革等に関する協議事項(常任委員会における所管事務調査)について、協議・決定した。また、議会改革等に関する協議事項(議会運営におけるICT活用)について、協議した。
令和元年11月27日	第4回定例会の議事日程(案)等について、ほか1件を協議・決定した。また、議会改革等に関する協議事項(議会運営におけるICT活用)について、協議した。
令和元年12月13日	第4回定例会再開の議事日程(案)等について、ほか1件を協議・決定した。

(6) 広域交通問題等対策特別委員会

日 程	会議に付した案件及び結果
令和元年 6月17日	正副委員長の互選 委員会の構成(元. 6.17 ~ ) ◎委員長 ○副委員長 ◎川畑 英樹 ○須山 妙子 阿部 草太 井上 耕志 大須賀浩裕 大野 祐司 岸本 直子 鈴木 宗貴 林 明裕 平野 充 丸田 絵美
令和元年 8月 5日	東京外かく環状道路に関する現状について、報告を受けた。

(7) 調布飛行場等対策特別委員会

日 程	会議に付した案件及び結果
平成31年 1月29日	新たな機種 of 航空機の調布飛行場使用の協議について、ほか1件の報告を受けた。
令和元年 6月17日	正副委員長の互選 委員会の構成(元. 6.17 ~ ) ◎委員長 ○副委員長 ◎内藤美貴子 ○元木 勇 大須賀浩裕 狩野 明彦 木下 安子 坂内 淳 澤井 慧 清水 仁恵 橘 正俊 西谷 徹 丸田 絵美
令和元年 7月23日	調布飛行場等の概要について、ほか1件の報告を受けた。

(8) 中心市街地盤整備等特別委員会

日 程	会議に付した案件及び結果
令和元年 6月17日	正副委員長の互選 委員会の構成(元. 6.17 ~ ) ◎委員長 ○副委員長 ◎伊藤 学 ○清水 仁恵 大野 祐司 狩野 明彦 川畑 英樹 小林 市之 榊原登志子 須山 妙子 西谷 徹 古川 陽菜 武藤 千里
令和元年 7月24日	鉄道敷地利用について、ほか1件の報告を受けた。

5 協議または調整の会議の開催状況

(1) 全員協議会

日 程	会議に付した案件及び結果
平成31年 2月13日	調布市基本計画（案）について
令和元年11月15日	台風19号の対応状況等について

(2) 広報委員会

日 程	会議に付した案件及び結果																
平成31年 1月15日	市議会だより第236号の発行について ホームページ・市議会だよりの改善策について																
平成31年 3月26日	市議会だより第237号の発行（案）について																
平成31年 4月10日	市議会だより第237号の発行について																
令和元年 6月17日	正副委員長の互選 委員会の構成（元. 6.17 ～ ） ◎委員長 ○副委員長 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>◎大野 祐司</td> <td>○西谷 徹</td> <td>阿部 草太</td> <td>狩野 明彦</td> </tr> <tr> <td>岸本 直子</td> <td>木下 安子</td> <td>榊原登志子</td> <td>澤井 慧</td> </tr> <tr> <td>須山 妙子</td> <td>平野 充</td> <td>古川 陽菜</td> <td>丸田 絵美</td> </tr> <tr> <td>宮本 和実</td> <td>渡辺進二郎</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	◎大野 祐司	○西谷 徹	阿部 草太	狩野 明彦	岸本 直子	木下 安子	榊原登志子	澤井 慧	須山 妙子	平野 充	古川 陽菜	丸田 絵美	宮本 和実	渡辺進二郎		
◎大野 祐司	○西谷 徹	阿部 草太	狩野 明彦														
岸本 直子	木下 安子	榊原登志子	澤井 慧														
須山 妙子	平野 充	古川 陽菜	丸田 絵美														
宮本 和実	渡辺進二郎																
令和元年 7月 3日	市議会だより第238号の発行（案）について その他																
令和元年 7月16日	市議会だより第238号の発行について																
令和元年 9月20日	市議会だより第239号の発行（案）について 市議会だより・ホームページの改善策について																
令和元年10月15日	市議会だより第239号の発行について 市議会だよりのカラー化について																
令和元年12月18日	市議会だより第240号の発行（案）について																

## 6 研修会・大会の開催状況

日 程	研修会等案件
平成31年 1月10日	議員研修 講師：法政大学 廣瀬 克哉氏（全員協議会室）
平成31年 2月 8日	第57回東京都市議会議員研修会（府中の森芸術劇場）
令和元年 8月 7日	第57回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会（練馬文化センター）
令和元年10月15日	第30回東京都道路整備事業推進大会（砂防会館）
令和元年10月30日 ～31日	第14回全国市議会議長会研究フォーラムin高知（高知ちばさんセンター）

## 7 行政視察の実施状況

委員会名	期 間	視察地	調査項目
総務委員会	令和元年 10月8日 ～10日	大阪府大阪市 大阪府泉大津市 岐阜県岐阜市	○防災・災害対策等の取り組みについて ○業務改革推進プロジェクトについて ○新庁舎建設について
文教委員会	令和元年 11月5日 ～7日	北海道岩見沢市 北海道札幌市 北海道苫小牧市	○児童見守りシステムについて ○札幌市民交流プラザについて ○国際バカロレア「札幌開成校」について ○「苫小牧市商店街の活性化に関する条例」をはじめとした商店街活性化の取り組みについて
厚生委員会	令和元年 10月8日 ～10日	和歌山県御坊市 奈良県奈良市 滋賀県野洲市	○認知症の人とともに築く総活躍のまち条例について ○路上喫煙防止に関する条例（過料あり）及び受動喫煙防止の取り組みについて ○くらし支えあい条例に基づく困窮者支援等について
建設委員会	令和元年 10月7日 ～9日	宮崎県延岡市 大分県大分市 山口県下関市	○延岡駅周辺整備事業について ○ふるさと団地の元気創造推進事業について ○空き家対策について

## 8 市長の基本的施策に対する代表質問・質問

### ○代表質問（平成31年3月7日）

#### 自由民主党創政会（渡辺 進二郎 議員）

- 1 平成最後の年となる天皇陛下への思いについて
- 2 自衛隊の役割を市民に伝える重要性について
- 3 ラグビーワールドカップ，オリンピック・パラリンピックについて
- 4 調布駅周辺について
- 5 調布飛行場について
- 6 自治体SDGsの取り組みについて
- 7 自治会・地区協議会への対応について
- 8 持続可能な市政経営について
- 9 AI・IOT・RPAの取り組み，セキュリティー対策とCIOについて
- 10 民営化の推進について
- 11 地域防災力向上の取り組みについて
- 12 防犯カメラ設置の拡充について
- 13 ICT教育推進とプログラミング教育の取り組みについて
- 14 教員の働き方改革と校務支援の取り組みについて
- 15 学校環境維持への取り組みについて
- 16 子育て支援について
- 17 児童虐待対策強化について
- 18 認知症ケアと日常生活支援について
- 19 共生社会の取り組みについて
- 20 高齢者への就労支援について
- 21 道路整備について
- 22 京王多摩川，西調布，柴崎，調布駅南口中央における地区計画制度の活用について
- 23 商店改装への補助制度について
- 24 神代出張所の移設について
- 25 各駅の自転車等駐車場整備とシェアサイクル導入について
- 26 柴崎，つつじヶ丘駅間立体交差化と鉄道横断施設の整備について
- 27 市内農業経営者の支援に向けた取り組みについて

#### チャレンジ調布21（丸田 絵美 議員）

- 1 中学生の被爆地派遣の継続実施について
- 2 人権尊重への取り組み向上に向けた専門部署の設置について
- 3 マイナンバーカードの活用について
- 4 クリーンセンター跡地活用について
- 5 老朽化した公共施設について
- 6 働き方改革・女性活躍について
- 7 地域防災体制の充実について

- 8 防犯における地域活動の充実について
- 9 保育園，保育士について
- 10 児童虐待について
- 11 子ども若者総合支援事業「ここあ」について
- 12 不登校児童・生徒の通う施設での給食提供について
- 13 学校施設整備について
- 14 学校におけるICT機器整備について
- 15 にぎわいと交流のある活気に満ちたまちづくりについて
- 16 シェアサイクルの推進や自転車条例の制定について
- 17 公衆トイレ整備方針について
- 18 パラリンピックのレガシーについて

#### **公明党（平野 充 議員）**

- 1 人権尊重について
- 2 SDGsの理念に基づいた各政策や施策について
- 3 お悔みコーナーのワンストップサービスについて
- 4 防災・減災対策について
- 5 体育館のエアコン設置について
- 6 ラグビーワールドカップや東京2020大会について
- 7 障害者や高齢者等のための新たな公共交通網について
- 8 健康ポイント制度について
- 9 包括支援センターについて
- 10 受動喫煙防止条例について
- 11 一時預かり保育について
- 12 中小企業への各種支援制度について
- 13 調布飛行場について
- 14 柴崎・つつじヶ丘駅周辺のまちづくりについて

#### **日本共産党（雨宮 幸男 議員）**

- 1 東京外かく環状道路と緊急避難計画について
- 2 小型航空機墜落事故について
- 3 行政の役割と責務について
- 4 参加と協働について
- 5 公共施設マネジメントについて
- 6 学校施設の改修・更新計画について
- 7 調布駅周辺について
- 8 行革プラン2019の推進について
- 9 介護保険利用料と国民健康保険税について
- 10 保育園と学童クラブの待機児童解消について
- 11 小学校体育館のエアコン整備について

- 12 ミニバスについて
- 13 住宅における各種助成について
- 14 市内中小企業者の営業実態把握について

○質問（平成31年3月8日）

元気派市民の会（大河 巳渡子 議員）

- 1 国際交流推進について
- 2 女性参画推進について
- 3 地域福祉コーディネーターについて
- 4 介護フェアについて
- 5 公文書管理条例の制定について
- 6 傍聴者へのアンケート配布について
- 7 農業振興計画策定について
- 8 調布駅前広場について

社会民主党（榊原 登志子 議員）

- 1 経済動向について
- 2 市政運営について
- 3 後期基本計画について
- 4 市職員の精神的ケア，心の病への取組みについて
- 5 クリーンセンター移転後の跡地活用について
- 6 社会保障費について
- 7 次期基本計画の財政面について
- 8 被災者支援法について
- 9 子育て支援について
- 10 地域包括ケアシステムについて
- 11 障害者・児の介護者支援策等について

## 9 市長所信表明（要旨）

（平成31年3月1日）

○はじめに ～新たな時代の幕開け～

本年5月、「平成」から元号が改まり、新たな時代の幕開けとなります。折しも、新元号が始まるこの節目の年に、調布市では新たな基本計画がスタートします。その初年度に当たって、引き続き、市政の第一の責務は、市民の安全・安心の確保と市民生活の支援、そして生活の利便性の向上であることは論をまちません。このことを基調としつつ、市民、議会の皆様と共に、未来へつなぐまちづくりを計画的に進めます。

私は市長就任以来、市民生活を大切にすることを原点に据え、市民とともに地域の諸課題の共有に努めながら、市政経営に邁進してきました。

その中でも、平成24年8月に市民念願の京王線地下化が実現し、平成29年9月には、3館の複合商業施設「トリエ京王調布」がオープンするなど、調布のまちづくりは目に見える形で躍動的に進展しています。さらに、武蔵野の森総合スポーツプラザが竣工し、これら商業及びスポーツ・文化の新たなランドマークが誕生したことで、調布市のまちづくりに対する市内外からの注目と期待が一層高まってきています。

そして、いよいよ開催年を迎えたラグビーワールドカップ2019、そこから1年以内に、東京2020大会の開催。これら世界最大級のスポーツイベントをオール調布で盛り上げ、その成果をレガシーとして、市のまちづくりへの多面的効果につなげていきます。とりわけパラリンピックを契機とした障害者スポーツの振興や、障害者への理解促進など、心のバリアフリーやユニバーサルデザインの考えに基づくまちづくりに意を用いて参ります。

○平成31年度の位置付け

平成31年度からの4年間を計画期間とする後期基本計画がスタートします。平成31年度はその初年度として引き続き、市民の安全・安心の確保と市民生活支援を基調として、利便性とうるおいを併せ持つ魅力あふれる豊かなまち調布の実現を目指し、諸施策を前進させていきます。

○まちづくりの基本理念の実現に向けて

調布市国際交流平和都市宣言30周年を2020年に迎えます。この節目に向けて、被爆地である広島に子どもたちを派遣する事業を実施します。さらに、世界的なスポーツイベントの開催を通じて、子どもたちに平和の尊さとともに、世界の広さと多様性を感じてもらえるよう取り組みます。

また、人権が尊重され、自分らしく暮らすことができる共生のまちづくりを推進します。

○市政経営の2つの基本的な考え方による取組の推進

### (1) 参加と協働のまちづくり

市民参加手続の運用改善や幅広い市民意見の把握につながる創意工夫に継続して取り組みます。

市民をはじめ、民間事業者やNPO法人、大学・研究機関など、多様な主体と連携・協働しながらまちづくりを進め、参加と協働を一層推進します。

調布のまちの魅力発信については、2019年、2020年を通じて積極的に取り組み、地域資源や観光情報などについて国内外への発信を展開します。

### (2) 持続可能な市政経営の推進

行革プランでは「事務の効率化」，「アウトソーシングの推進」，「公共施設等マネジメントの推進」の3つを重要な視点として捉え，これまで以上に行財政改革の取り組みを推進します。

公共施設全体の総合的・計画的な管理に取り組み，個別施設の在り方・方向性の整理に向けた検討を進めます。

併せて，クリーンセンター移転後の跡地活用は，高齢者の社会参加，健康づくり，多世代交流などの機能を有する施設整備に向け，官民連携手法を軸に事業を推進します。

グリーンホール，総合福祉センターは，各施設を取り巻く課題などを踏まえ，民間活力の活用を視野に，今後の方向性と施設整備の方針を定めます。

学校施設は，中学校体育館の空調整備を進めます。また，老朽化・長寿命化対策について，計画的に取り組みます。

## 10 一般質問（通告内容）

### (1) 第1回定例会

#### ○平成31年3月11日

#### 二 宮 陽 子 議員(生活者ネットワーク)

- 1 ハラスメントのない平等な社会をつくるために
  - (1) 市内のハラスメントに対する現状と今後の取り組みについて
  - (2) 市内のハラスメントへの相談体制について
  - (3) 市内の女性活躍推進について
    - ア 人材育成・女性活躍推進担当の実績について
    - イ 課題と今後の展開を問う
    - ウ 内閣府「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言に市長が賛同することについて
  - (4) 男女平等推進条例の制定について

#### 岸 本 直 子 議員(日本共産党)

- 1 学校施設の今後について
  - (1) 学校施設の建てかえ、大規模改修について
  - (2) 小・中学校体育館の空調設置について
- 2 都市計画道路3・4・10号線にかかわる課題について
  - (1) 調布市域の路線の今後について
  - (2) 崖線緑地の整備、活用について
- 3 商業振興について
  - (1) 市内商店・事業者への消費税増税の影響について
  - (2) 商店の要求実態調査について

#### 武 藤 千 里 議員(日本共産党)

- 1 人に優しいまちづくりについて
  - (1) 地域住民、歩行者に安全な道路、まちづくりについて
  - (2) オリンピック・パラリンピックに向けての、トイレのバリアフリーについて
- 2 高齢者の暮らしと介護について
  - (1) 暮らしの実態について
  - (2) 誰もが安心して介護保険を使えるために
- 3 幼児教育・保育の無償化について
  - (1) 全ての子どもが恩恵を受けるものに

## (2) 第2回定例会

○令和元年6月19日

大野 祐 司 議員(自由民主党創政会)

- 1 今夏の暑熱対策について
  - (1) 公共施設の暑熱対策について
  - (2) イベントでの暑熱対策について
  - (3) 今後の取り組みについて
- 2 実践的な防災訓練について
  - (1) 防災訓練の現状と課題
  - (2) 防災訓練の今後について

平野 充 議員(公明党)

- 1 ふるさと納税の影響について
  - (1) ふるさと納税による本市の減収対策について
    - ア 減収額と推移, 今後の見通しについて
    - イ 税収につながるアイデアや取り組みについて
- 2 グリーンホールの整備方針について
  - (1) 市民が求めるホール整備について
    - ア 課題の洗い出しについて
    - イ 利用者によるアンケート調査の実施について
    - ウ 求められるホールのタイプについて

鈴木 宗 貴 議員(自由民主党創政会)

- 1 持続可能な地域共生社会の実現について
  - (1) 地域包括ケアの深化・推進について
  - (2) 持続可能な地域共生社会の実現について
- 2 調布駅前広場の整備について
  - (1) 暫定開放期間の仮設整備について
  - (2) 日本一の駅前広場を目指した今後の整備について

狩野 明彦 議員(自由民主党創政会)

- 1 介護事業の状況について
  - (1) 介護事業の労働状況について
  - (2) 介護職員の充足と確保について
- 2 福祉圏域における生活支援・介護事業について
  - (1) 地域包括支援センターについて
  - (2) 各事業の現状と課題について
- 3 地域包括ケアシステムにおける事業構築に向けて
  - (1) 「場所」について

- (2) 「人」について
- 4 制度のはざまの在宅療養・介護について
  - (1) 制度のはざまの在宅療養・介護について

#### 阿 部 草 太 議員(次世代・調布)

- 1 京王多摩川駅周辺のまちづくりについて
  - (1) 現状と方向性について
    - ア 少子高齢化（人口減少）の進む状態での方向性について
    - イ 「住民の声」のとり方や周辺住民の周知について
    - ウ 駅前開発や高齢化の進む商店街の方向性について
- 2 子育て世代の環境について
  - (1) 働きながら子育てしやすい環境について
    - ア 若年層の低所得化による労働環境について
    - イ 働きやすい環境にしていくための環境づくりの方向性について
    - ウ 小学校放課後事業の現状と方向性について
    - エ 病児保育の現状と方向性について
- 3 公園利用について
  - (1) 公園利用の現状と方向性について
    - ア 公園の利用頻度・利用者層の偏りにについて
    - イ ボール遊びができない公園が多い現状と今後について
    - ウ 今後の、ドッグラン公園について

#### 澤 井 慧 議員(日本維新の会)

- 1 スマートモビリティについて
  - (1) 市の現状の認識について
  - (2) オリンピック・パラリンピック会場市としての実証実験誘致について
  - (3) 交通不便地域における新たな移動手段についての考え方と今後の展望について
- 2 子どもがわくわくする公園の整備について
  - (1) 多摩産材を活用した遊具の設置について
  - (2) 水遊びが可能な公園の整備について
  - (3) プレーパークの整備について

#### ○令和元年6月20日

#### 木 下 安 子 議員(生活者ネットワーク)

- 1 外環道工事近隣住民の安心と安全の確保のために
  - (1) 住民の安心のためにわかりやすい情報提供を
    - ア 一般市民にわかりやすい情報提供を
    - イ 工事日程と進捗状況の周知を
  - (2) 確かな安全管理体制を
    - ア 環境保全と安全管理体制構築の視点からの情報提供を

- イ 具体的な避難経路を含む実効性のある避難計画の策定を
- ウ 工事終了後も市民との協働で安全管理体制構築の継続を
- 2 子どもたちの最善の利益を第一に考えた安全な運動会を
  - (1) 5月25日に市立小学校で行われた運動会における事前対応と結果状況
    - ア 運動会当日までの指導室、学校、家庭、地域の情報共有、連絡、連携について
    - イ 暑さ指数計測器の運用の現状は
    - ウ 熱中症の報告状況は
  - (2) 子どもたちの安全を最優先に考えた運動会にするために
    - ア 子どもの体の発達に関する知識は共有されているか
    - イ 運動会実施の是非を判断する基準について議論と共有を

#### 西 谷 徹 議員(チャレンジ調布21)

- 1 福祉の取り組み方について
  - (1) 8050問題について
    - ア 引きこもりに関する市の認識
    - イ 発見と支援につながる仕組み
    - ウ 市としての横断的連携について
  - (2) 介護士の現状について
    - ア 介護士に関する市の認識
    - イ 直接的な支援について
    - ウ 人材の確保について

#### 古 川 陽 菜 議員(調布の未来を創る会)

- 1 暮らしやすい社会づくりについて
  - (1) 引きこもりの問題について
  - (2) 地域福祉コーディネーターについて
  - (3) 孤立した家庭へのアプローチについて
- 2 市の空き家対策について
  - (1) 特定空き家への対策について
  - (2) 空き家を予防するための啓発活動について
  - (3) 税制上の問題について

#### 須 山 妙 子 議員(公明党)

- 1 子どもへの貧困対策について
  - (1) 市の現状と課題について
  - (2) 庁内及び関係機関・団体並びに民間機関・団体との連携について
    - ア 早期発見の取り組み
    - イ 支援の取り組み
  - (3) ひとり親世帯への支援について
  - (4) 高校生世代への支援について

## 2 食品ロス削減への取り組みについて

- (1) 食品ロス削減推進法への市の認識と市町村食品ロス削減推進計画について
- (2) 普及啓発と食品ロス削減月間及び削減の日の取り組みについて
- (3) フードバンク・フードドライブの取り組みについて
- (4) 庁内及び関係機関・団体並びに民間機関・団体との連携について

## 井 上 耕 志 議員(チャレンジ調布21)

### 1 高齢者の免許証自主返納推進に向けた取り組みを

- (1) 現状把握について
- (2) 地域住民との連携について
- (3) 行政と地元商工業者が積極的にかかわる施策の展開を

### 2 各世代の方々が地域で安全に生き生きと暮らし続けられる環境の構築を

- (1) 地域でデビューされる退職された方々のこれまでとこれからについて
- (2) 地域で活動されている団体の皆さんの連携を進めていくために

## 榊 原 登志子 議員(社会民主党)

### 1 会計年度任用職員制度の導入について

- (1) 非正規職員の勤務状況や制度全体の状況と課題について
- (2) 現段階での協議状況について
- (3) 働きやすい環境や休暇制度の課題と労使協議について

## ○令和元年6月21日

## 丸 田 絵 美 議員(チャレンジ調布21)

### 1 高齢者支援について

- (1) 超高齢社会となった市の現状と課題
- (2) 認知症と徘徊について
- (3) 世帯状況・実態の把握について
- (4) 詐欺対策について
- (5) 災害に対する備えについて
  - ア 新警戒レベルの判断と市の取り組み
  - イ 防災グッズについて

## 雨 宮 幸 男 議員(日本共産党)

### 1 市における貧困問題の現状と行政支援について

- (1) 日本の格差と貧困の現状と国際比較
- (2) 調布市における貧困の推移と現状についての認識を問う
- (3) 行政支援の課題

### 2 多摩川住宅の再生に向けて

- (1) 地区計画策定に至る経過と地区計画の概要及び特徴
- (2) 地区計画策定以降の取り組みの内容と到達点について

- (3) 具体的な幾つかの課題（現段階での懸案事項）

**武 藤 千 里 議員（日本共産党）**

1 学校施設の整備について

- (1) 市の施策における学校施設整備の重要性
- (2) 計画の策定と、推進体制について
- (3) 財源問題について

2 子どもの安全について

- (1) 保育施設の園外活動の安全対策と、保育の質の向上について

**坂 内 淳 議員（日本共産党）**

1 会計年度任用職員制度について

- (1) 会計年度任用職員制度についての認識について
- (2) 会計年度任用職員制度移行への準備状況について

**岸 本 直 子 議員（日本共産党）**

1 社会から孤立する人をなくす対策の充実を

- (1) 日中独居の高齢者への支援について
- (2) 引きこもり対策について

2 介護施設の充実について

- (1) これまでの取り組みの振り返り、到達と今後の計画について
- (2) 公有地のさらなる活用、地域バランスを考慮した増設の考え方について

**内 藤 美貴子 議員（公明党）**

1 中高年の引きこもり対策について

- (1) 相談体制の整備について
- (2) 家族会への支援について

2 市内事業者への支援について

- (1) 役務の入札・契約制度について
- (2) ものづくり中小企業への支援について

3 災害対策の取り組みについて

- (1) 総合体育館体育室のエアコン設置について
- (2) 被災者の行政手続支援について

**○令和元年6月24日**

**橘 正 俊 議員（公明党）**

1 公立小・中学校現場における課題について

- (1) 小学校の特別支援学級について
- (2) 運動会の熱中症対策について
- (3) 登下校の安全対策について

## 2 防犯対策について

- (1) 街頭防犯カメラの設置について

### 清 水 仁 恵 議員(チャレンジ調布21)

#### 1 次世代へ良好な環境を残す取り組みの充実を

- (1) 市の考え方について
- (2) 現状・課題について
- (3) 具体的取り組みについて

### (3) 第3回定例会

○令和元年9月5日

狩野明彦議員(自由民主党創政会)

- 1 保育の現状と課題について
  - (1) 子育て支援の充実について
  - (2) 保育の質の確保に向けて
- 2 幼稚園教育の現状と課題について
  - (1) 幼稚園教育への支援について
- 3 福祉現場での紙おむつ処理について
  - (1) 現状における紙おむつ処理について
  - (2) 福祉の現場で増大する紙おむつ処理に向けて

平野充議員(公明党)

- 1 芸術文化・スポーツ活動を育むための支援について
  - (1) 現状の支援について
    - ア 現状の支援と課題について
  - (2) 基金の活用について
    - ア 基金の使い方と公表について
    - イ アピールや基金名称について
- 2 調布駅前広場整備について
  - (1) 令和2年度下期の整備計画について
  - (2) 令和3年度以降の整備計画について
    - ア 南バスロータリーについて
    - イ プレイゾーンや噴水の整備について
    - ウ 樹木の植樹計画について
    - エ 公共施設棟と大屋根, 広場口について

木下安子議員(生活者ネットワーク)

- 1 共生社会の基盤構築と障害児の保護者へのケアラー支援推進のために
  - (1) (仮称)富士見町学童クラブの開設の意義について
    - ア 従来の学童クラブ及び放課後等デイサービスとの違い
    - イ 市が描く共生社会のビジョンは
    - ウ 共生社会の基盤構築に向けた運営を
      - (ア) 保護者に丁寧な説明や意見交換, 啓発の場を
      - (イ) 子どもの権利条約を生かした学童運営を
      - (ウ) 子どもたちの交流をサポートする専門職員の配置について
    - エ 障害児の居住地における交流推進のために
  - (2) 障害児の保護者に対する就労支援の福祉的側面の認識と取り組みについて
    - ア ケアラー支援として

- イ 貧困対策として
  - ウ 送迎サービスの必要性についての認識
- (3) 子ども生活部と福祉健康部の連携による福祉的側面の強化を

**阿 部 草 太 議員(次世代・調布)**

- 1 京王多摩川駅周辺のまちづくりのアンケートについて
  - (1) アンケートの結果に対しての市の今後の対応について
- 2 自治会について
  - (1) 自治会の現状の課題と今後の市の対応について
    - ア 現状の認識について
    - イ 自治会の役割について
    - ウ 課題の把握と対策について
- 3 消防団について
  - (1) 消防団の人員確保に関する課題と対策について
    - ア 現状の認識について
    - イ 課題と今後の市の対策について

**澤 井 慧 議員(日本維新の会)**

- 1 主権者教育の充実を目指して
  - (1) 主権者教育について
    - ア 主権者教育の取り組みについて
    - イ 特別支援学級における取り組みについて
- 2 働き方改革の推進について
  - (1) R P A の導入による行政事務の効率化について
    - ア 現状の取り組みと今後の展望について
  - (2) 自治体間ベンチマーキングについて
    - ア 業務の見える化の現状について
    - イ 他自治体との連携について

**橋 正 俊 議員(公明党)**

- 1 京王多摩川駅周辺地区の新しいまちづくりについて
  - (1) 駅前複合拠点ゾーンについて
    - ア 魅力的な駅前拠点について
    - イ 用途地域について
    - ウ 迷惑施設と色彩の規制について
    - エ 公共的な機能について
    - オ 若者にも魅力ある多様な機能について
    - カ 防災機能について
  - (2) 公共交通について
    - ア 路線バスについて

## 2 安心・安全のまちづくりについて

### (1) 公共トイレについて

ア 統一的な管理について

イ 公園トイレの改修について

### (2) 鬼太郎ひろばについて

ア 防犯対策の効果と今後の対応について

イ 遊具・施設の安全対策について

ウ トイレの設置について

エ 駐輪場対策について

## ○令和元年9月6日

### 雨宮幸男議員(日本共産党)

#### 1 中心市街地街づくり総合計画後の「まちづくりランドデザイン」について

(1) 中心市街地街づくり総合計画の包括的総括

(2) 総合計画後の都市像・ランドデザイン

(3) ランドデザインの、都市計画マスタープラン及び地域別街づくり方針への反映

#### 2 官民連携事業に係る課題について

(1) 官民連携の変遷

(2) PFIとPPPの事業手法の相違について

(3) 官民連携事業における「民」の問題点(課題)

(4) クリーンセンター跡地活用計画におけるPPPについて

### 坂内淳議員(日本共産党)

#### 1 本年10月からの消費税増税の調布市への影響と認識を問う

(1) 市内事業所、特に中小零細事業所、事業者への影響について

(2) 市民の暮らしへの影響について

(3) 市行政への影響について

#### 2 国民健康保険税の負担軽減について

(1) 国民健康保険加入者の生計実態と負担の現状について

(2) 多子世帯への負担軽減策について

(3) 法定外繰り入れの解消について

### 岸本直子議員(日本共産党)

#### 1 子育て施策と児童館について

(1) 昨今の子どもをめぐる課題について基本的認識を問う

(2) 児童福祉施策における児童館の位置づけについて

#### 2 地域の課題について

(1) 西つつじヶ丘地域の共同溝冷却施設建設の概要と今後について

(2) 住民の不安を拭うための市の役割について

**武 藤 千 里 議員(日本共産党)**

- 1 トイレの環境整備について
  - (1) トイレの環境整備についての市の基本的考えを伺う
  - (2) 公共施設のトイレについて
  - (3) 民間施設のトイレについて
  - (4) わかりやすいトイレ表示について
- 2 住宅の改善について
  - (1) 住宅の改善に関する課題について
  - (2) 支援策について
  - (3) 公営住宅の改善について

**内 藤 美貴子 議員(公明党)**

- 1 市民サービスの向上と業務の効率化について
  - (1) お悔やみ手続支援について
  - (2) アプリを利用した納税について
  - (3) SMSによる市税の納付忘れ防止について
- 2 子育て支援の充実について
  - (1) 祖父母世代への孫育てサポートについて
  - (2) 認可外保育施設の補助金交付時期について

**川 畑 英 樹 議員(チャレンジ調布21)**

- 1 高齢者が安心できる生活環境について
  - (1) 第7期調布市高齢者総合計画における具体的な取り組みについて
  - (2) 悪徳商法・特殊詐欺について
  - (3) 高齢者虐待について
  - (4) 介護者への支援について
  - (5) 介護予防と高齢者の社会参加について

**丸 田 絵 美 議員(チャレンジ調布21)**

- 1 風水害対策について
  - (1) 浸水ハザードマップについて
  - (2) 風水害に対する市の取り組みについて
- 2 健康施策について
  - (1) 総合型地域スポーツクラブの意義と現状、市の考えについて
  - (2) 事故への対策について
  - (3) 今後の取り組みについて
- 3 消費税増税を目前にして
  - (1) 消費税増税に関する市の見解は
  - (2) 市内商店への対応と支援について
  - (3) キャッシュレス決済について

#### (4) 第4回定例会

○令和元年12月3日

大野 祐 司 議員(自由民主党創政会)

- 1 暴風雨災害対策について
  - (1) 今秋の台風被害について
  - (2) 台風19号に見る調布市の現状について
  - (3) 今後の対策について

鈴木 宗 貴 議員(自由民主党創政会)

- 1 フェーズフリーの取り組みについて
  - (1) フェーズフリーの概念に基づく取り組みについて
  - (2) LPガスヒートポンプの導入について
- 2 再犯防止の推進について
  - (1) 調布市再犯防止推進計画の策定と推進について
  - (2) 再犯防止への支援について
- 3 東京都教育ビジョン(第4次)と教育課題について
  - (1) 東京都教育ビジョン(第4次)の課題認識について
  - (2) ICT教育の推進について
  - (3) 学校復帰にこだわらない不登校対応について

平野 充 議員(公明党)

- 1 水害対策について
  - (1) 避難について
    - ア 浸水想定やマイ・タイムラインについて
    - イ 水害での避難先(避難所)について
  - (2) 災害時の対応人員や車両について
    - ア 社会福祉協議会やゆうあい福祉公社, 社会福祉事業団, 体育協会, 市民サービス公社の応援体制について
    - イ 調布エフエムとの連携について
  - (3) 染地地域の下水(雨水)対応について
  - (4) 京王多摩川駅(西側)の開発について
    - ア 京王電鉄株式会社との連携・協力について

澤井 慧 議員(日本維新の会)

- 1 災害発生時の広報活動について
  - (1) 災害時のSNSの活用について
  - (2) 市のウェブサイトの対策について
    - ア 事前の準備状況について
    - イ 今後の対策方法について

- (3) 災害対策本部と避難所の情報連携について
- (4) 緊急速報メールの活用について

## 2 避難所について

- (1) 避難所の受け入れ体制について
- (2) 避難所運営マニュアルの検証について
- (3) 段ボールベッドの備蓄及び調達体制について

## 木 下 安 子 議員(生活者ネットワーク)

### 1 台風19号の教訓を生かした避難環境の改善のために

- (1) 避難所における現場判断について
  - ア 今回の課題の把握について
  - イ 判断力の強化で避難者の思いに寄り添った対応を
- (2) 要支援者が避難しやすい環境づくりのさらなる充実と周知を

### 2 幅広い層の市民が主体的に参加・協働できる市民参加の手法導入を

- (1) 「市民参加プログラム」策定以降の市民参加の取り組みと課題認識について
- (2) 十分な情報公開と市民が構想段階からかかわる機会の拡充を
- (3) 中立的な立場のファシリテーターを介したワークショップの活用を

### 3 グリーンホールの更新に当たって、全ての市民に文化的体験を保障する居場所的な空間を

- (1) 誰もが文化を楽しめる施設にするために
  - ア 現グリーンホールの利用状況の把握と課題認識は
  - イ 市民が新施設に求める文化的体験とは
- (2) 市民の活動を通して新施設と駅周辺に一体感の創出を

## 阿 部 草 太 議員(次世代・調布)

### 1 台風19号に対する避難と対応について

- (1) 今回の課題と、今後の課題に対する対策について
  - ア 京王多摩川地域の避難について
  - イ 多摩川の堤防が決壊していた際の対応について
  - ウ 民間企業との災害時の協力について

### 2 妊産婦への支援について

- (1) 育児ギフトについて
  - ア 妊産婦の心と体のケアに対する、子育て利用券の導入について

### 3 「保育園等の利用の基準指数」について

- (1) 基準指数の見直しについて
  - ア 自営中心者以外の撤廃について
  - イ 障害児の兄弟姉妹のいる家庭への基準指数の設置について
  - ウ 兄弟姉妹の同一の保育園への入園について

### 4 商店・商店街の活性化対策について

- (1) 活性化対策について
  - ア 新規事業者について

- イ 商店街対策について
- ウ 空き店舗対策について
- エ シェアオフィスについて

## ○令和元年12月4日

### 西 谷 徹 議員(チャレンジ調布21)

- 1 令和元年台風19号について
  - (1) 今回の被害を受けての今後の対策について
  - (2) 市民の災害に対する意識向上に向けて
- 2 市内における蜂の駆除について
  - (1) 現在の取り組み方について
  - (2) 今後の取り組み方について

### 清 水 仁 恵 議員(チャレンジ調布21)

- 1 共生社会の実現に向けて ～多様な市民に寄り添う施策展開を～
  - (1) 市の考え方について
  - (2) 具体的施策・支援について

### 古 川 陽 菜 議員(調布の未来を創る会)

- 1 災害対策について
  - (1) 災害時の職員参集について
  - (2) 防水対策について
    - ア 土のう使用上の課題について
    - イ 今後の周知活動について
- 2 無電柱化の推進について
  - (1) 市の現状と課題について
  - (2) 整備の優先順位について
  - (3) 調布駅前広場の無電柱化について
    - ア 整備方針について
    - イ 地上機器について

### 丸 田 絵 美 議員(チャレンジ調布21)

- 1 子育て支援について
  - (1) 調布っ子すこやかプランについて
  - (2) 妊娠から乳幼児期への「切れ目のない支援」とは
    - ア 妊娠届からゆりかご面接
    - イ 初めての子や年子の乳児期について
  - (3) 多子多胎児への支援について
    - ア サポートのあり方
    - イ 保育園受け入れについて

## 2 観光資源について

- (1) 多摩川の渡しについて
- (2) 資源の保全と活用について

### 榊原 登志子 議員(社会民主党)

#### 1 台風19号の対応における課題について

- (1) 災害対策本部の市の態勢について
- (2) 染地地区の浸水に係る対応について
- (3) 今回の経験を踏まえての市の対策

#### 2 東京2020大会の本番に向けて

- (1) ラグビーワールドカップ開催に関する市としての総括について
- (2) 今後の東京2020大会への課題と改善点，レガシーの創出について

### 岸本 直子 議員(日本共産党)

#### 1 医療・介護の制度改定が市民に与える影響について

- (1) 国の医療・介護制度の改定について
- (2) 今後の高齢者総合計画に向けた，振り返りと課題について
- (3) 国への要望について

#### 2 外環道工事のその後について

- (1) 野川に発生した気泡，白子川の漏気噴出について
- (2) 調布市域の工事について
- (3) 住民に対する説明責任について

## ○令和元年12月5日

### 雨宮 幸男 議員(日本共産党)

#### 1 19号台風災害(水害)の事後検証と今後への対応について

- (1) 今回の災害に関する受けとめについての市長の基本認識と，今後への決意は
- (2) 災害の原因究明(樋門管理の現状と実態)について
- (3) 今後への対応(樋門管理の監視・管理システムの構築)について
- (4) 多摩川の治水対策について

#### 2 公契約条例について

- (1) 条例制定に対する市長の基本認識は
- (2) これまで課題とされてきた，案件に対する取り組みの現状と，課題解決への展望は
- (3) 条例制定の自治体の取り組みの実態について
- (4) 期限を切ったの条例制定の取り組みを

### 坂内 淳 議員(日本共産党)

#### 1 台風19号被害を教訓にした災害対策を

- (1) 想定を見直して防災計画の再検討を
- (2) 災害時のアスベスト対策について

**武 藤 千 里 議員(日本共産党)**

- 1 市民とともにつくる防災のまちづくり
  - (1) 災害時の情報提供のあり方と伝達方法について
  - (2) 災害への備えと防災訓練, 防災教育の日について
  - (3) 避難所となる学校の整備について
  - (4) 被災者対策について
  - (5) 市民と協働の課題解決について

**須 山 妙 子 議員(公明党)**

- 1 台風・豪雨・浸水・洪水に備える水防対策について
  - (1) 発災時の庁内体制と各機関との連携について
  - (2) 避難対策について
    - ア 避難の考え方について
    - イ マイ・タイムラインについて
    - ウ 情報発信について
  - (3) 住民との協働による水防対策について
    - ア 地域ハザードマップ作成について
    - イ 地域での水防訓練について
    - ウ 平時の準備と浸水想定 of 可視化について
    - エ 庁内の連携について
  - (4) 災害対応体制の実効性の確保と緊急時の住民の電源確保について

**内 藤 美 貴 子 議員(公明党)**

- 1 避難所の受け入れ体制について
  - (1) 地域福祉センターの避難所機能の充実について
    - ア 災害時における地域福祉センターの位置づけについて
    - イ 駐車場の確保について
    - ウ 備蓄品の確保について
    - エ 雨漏り修理について
  - (2) 要配慮者への対応について
    - ア 教室を利用した福祉避難室の活用について
    - イ 障害者の災害時支援ガイドの配備について
  - (3) 福祉避難所について
    - ア 直接避難の考え方について
    - イ 福祉避難所運営マニュアル(手引)の作成について
- 2 災害時におけるペットとの同行避難について
  - (1) 避難所ペット受け入れの情報発信のあり方について
    - ア 自主避難所開設時の情報発信について
    - イ 指定避難所開設時の情報発信について
  - (2) 動物救護マニュアル(手引)の作成について

- (3) 動物避難所の受け入れ訓練の実施について
- (4) 市民へのペットとの同行避難の周知について
  - ア 飼い主への災害に備えた準備と避難所のルール
  - イ ペットを飼っていない人への同行避難の理解・協力
- 3 被災者の行政手続支援について
  - (1) 罹災証明を迅速に発行するための災害協定について

**大須賀 浩 裕 議員(自由民主党創政会)**

- 1 ラグビーワールドカップについて
  - (1) 総合的な評価と反省について
  - (2) おもてなしについて
  - (3) 調布の魅力発信について
  - (4) 商業・観光面での影響について
  - (5) 飛田給地域で懸念された課題について
  - (6) 国歌について
  - (7) レガシーについて
  - (8) 調布駅前広場について

**○令和元年12月6日**

**橘 正 俊 議員(公明党)**

- 1 子ども政策について
  - (1) 幼保無償化について
  - (2) 認可保育園の紙おむつの処分について
  - (3) 災害時における保育園の対応について
- 2 台風19号について
  - (1) 災害ごみの処理について
  - (2) 災害ボランティアへの支援について

**井 上 耕 志 議員(チャレンジ調布21)**

- 1 産業振興を軸としたまちの盛り上がりを目指すために
  - (1) ラグビーワールドカップの検証とオリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて
  - (2) 中小企業振興に向けた条例制定に対する考えについて
  - (3) 中心市街地活性化プランの検証とこれからのまちのにぎわい創出に向けた計画策定について

## 11 傍聴

(単位：人)

定例会・臨時会	傍聴者人数		委員会	傍聴者人数		
	一般	報道		一般	報道	議員
第1回定例会	95	0	総務委員会	32	0	13
第2回定例会	106	0	文教委員会	4	0	0
第3回定例会	55	0	厚生委員会	17	0	0
第4回定例会	50	0	建設委員会	31	0	2
			議会運営委員会	2	0	2
			広域交通問題等 対策特別委員会	4	0	0
			調布飛行場等 対策特別委員会	17	4	0
			中心市街地盤整備等 特別委員会	4	0	0
			全員協議会	7	0	0
			広報委員会	0	0	0
合計	306	0	合計	118	4	17

## 12 インターネットサービスアクセス数

### (1) 本会議及び各委員会生中継

(単位：件)

本会議・委員会	アクセス数					
	第1回 定例会	第2回 定例会	第3回 定例会	第4回 定例会	閉会中	合計
本会議	1,328	3,622	1,359	2,416	0	8,725
総務委員会	1,448	376	1,348	372	0	3,544
文教委員会	741	91	1,114	401	0	2,347
厚生委員会	496	109	649	252	0	1,506
建設委員会	982	336	1,211	646	0	3,175
議会運営委員会	12	63	45	16	116	252
広域交通問題等 対策特別委員会	0	24	0	0	39	63
調布飛行場等 対策特別委員会	0	24	0	0	90	114
中心市街地基盤 整備等特別委員会	0	24	0	0	80	104
全員協議会	0	0	0	0	322	322
合計	5,007	4,669	5,726	4,103	647	20,152

### (2) 本会議及び各委員会録画 3,493件

(単位：件)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
アクセス数	83	131	380	361	87	658
月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アクセス数	447	189	516	145	116	380

### (3) 会議録検索システム 3,295件

(単位：件)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
アクセス数	237	285	290	278	261	356
月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アクセス数	275	316	319	215	248	215

### 13 市議会だより発行状況

号 数	発行年月日	ページ数	発行部数	戸別配布部数
第236号	平成31年 2月 5日	8	124,500	122,233
第237号	令和元年 5月 5日	8	124,700	122,599
第238号	令和元年 8月 5日	10	124,900	122,403
第239号	令和元年11月 5日	8	124,800	122,729

### 14 議場コンサート

開催日	令和元年11月29日（金）
開催目的	より多くの市民の皆様に市議会の場へ気軽に足を運んでいただくため
内容と曲目	<p>桐朋学園大学の学生による金管五重奏</p> <p>開催当日は名誉市民である水木しげるさんの功績をたたえる「ゲゲゲ忌」の期間にあたることから、水木しげるさんのゆかりの曲などを演奏していただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ジョン・ウィリアムズ：ロサンゼルス・オリンピック・ファンファーレ</li> <li>○J. S. バッハ：カンタータ「目覚めよと呼ぶ声あり」</li> <li>○ヨーゼフ・ホルヴィッツ：ミュージックホール組曲</li> <li>○ゲゲゲの鬼太郎</li> <li>○わが町調布</li> </ul>
来場者	29人（一般26人／報道3人）

### 15 議会報告会

開催日時	令和元年11月16日（土） 午後2時から午後4時04分まで
場所	文化会館たづくり12階 大会議場
主なプログラム （手話通訳・託児付）	<p>議長報告</p> <p>第3回定例会における平成30年度決算審査の報告（各常任委員会）</p> <p>委員会ごとに分かれて広聴</p>
参加者	22人
市民への議会報告会実行委員会の開催状況	<p>令和元年 8月20日 第1回実行委員会</p> <p>令和元年10月16日 第2回実行委員会</p> <p>令和元年11月11日 第3回実行委員会</p>

16 会派別所属議員名簿（令和元年6月1日時点）

会派の名称	所属議員名（◎幹事長 ○副幹事長）
自由民主党創政会 （8人）	◎鈴木宗貴 ○狩野明彦 伊藤学 大須賀浩裕 大野祐司 林明裕 元木勇 渡辺進二郎
チャレンジ調布21 （6人）	◎井上耕志 ○清水仁恵 川畑英樹 西谷徹 丸田絵美 宮本和実
公明党 （5人）	◎小林市之 ○平野充 須山妙子 橘正俊 内藤美貴子
日本共産党 （4人）	◎雨宮幸男 ○武藤千里 岸本直子 坂内淳
社会民主党 （1人）	◎榑原登志子
生活者ネットワーク （1人）	◎木下安子
日本維新の会 （1人）	◎澤井慧
次世代・調布 （1人）	◎阿部草太
調布の未来を創る会 （1人）	◎古川陽菜

17 議会関係各種委員等名簿（令和元年6月17日時点）

区 分		定数	委 員 名 (◎委員長 ○副委員長)			
議 長		1	渡辺進二郎			
副 議 長		1	宮本 和実			
常 任 委 員	総務委員	7	◎鈴木 宗貴 榑原登志子	○清水 仁恵 橘 正俊	雨宮 幸男 渡辺進二郎	大須賀浩裕
	文教委員	7	◎狩野 明彦 須山 妙子	○岸本 直子 古川 陽菜	大野 祐司 宮本 和実	川畑 英樹
	厚生委員	7	◎平野 充 西谷 徹	○元木 勇 林 明裕	小林 市之 武藤 千里	澤井 慧
	建設委員	7	◎丸田 絵美 井上 耕志	○内藤美貴子 木下 安子	阿部 草太 坂内 淳	伊藤 学
議会運営委員		5	◎大須賀浩裕 鈴木 宗貴	○小林 市之	雨宮 幸男	井上 耕志
広域交通問題等対策特別委員		1 1	◎川畑 英樹 大須賀浩裕 林 明裕	○須山 妙子 大野 祐司 平野 充	阿部 草太 岸本 直子 丸田 絵美	井上 耕志 鈴木 宗貴
調布飛行場等対策特別委員		1 1	◎内藤美貴子 木下 安子 橘 正俊	○元木 勇 坂内 淳 西谷 徹	大須賀浩裕 澤井 慧 丸田 絵美	狩野 明彦 清水 仁恵
中心市街地盤整備等特別委員		1 1	◎伊藤 学 川畑 英樹 西谷 徹	○清水 仁恵 小林 市之 古川 陽菜	大野 祐司 榑原登志子 武藤 千里	狩野 明彦 須山 妙子
ふじみ衛生組合議会議員		5	井上 耕志 橘 正俊	大須賀浩裕	川畑 英樹	鈴木 宗貴
東京都十一市競輪事業組合議会議員		2	清水 仁恵	元木 勇		
東京都六市競艇事業組合議会議員		2	伊藤 学	平野 充		

区 分		定数	委 員 名 (◎委員長 ○副委員長)			
東京たま広域資源循環 組合議会議員		1	丸田 絵美			
監 査 委 員		1	小林 市之			
調布市都市計画審議会 委員		5 以内	雨宮 幸男 伊藤 学 狩野 明彦 須山 妙子 丸田 絵美			
調布市土地開発公社 監事		1	大須賀浩裕			
調布市国民健康保険 運営協議会委員		5	井上 耕志 大野 祐司 狩野 明彦 坂内 淳 橘 正俊			
調布市公民館運営 審議会委員		1	平野 充			
調布市京王閣競輪場 周辺環境対策連絡 協議会相談役		9	阿部 草太 雨宮 幸男 井上 耕志 木下 安子 榊原登志子 澤井 慧 鈴木 宗貴 橘 正俊 古川 陽菜			
広 報 委 員 会 委 員		1 4	◎大野 祐司 ○西谷 徹 阿部 草太 狩野 明彦 岸本 直子 木下 安子 榊原登志子 澤井 慧 須山 妙子 平野 充 古川 陽菜 丸田 絵美 宮本 和実 渡辺進二郎			
市民への議会報告実行 委員会委員		1 2 以内	◎大須賀浩裕 ○内藤美貴子 阿部 草太 大野 祐司 木下 安子 坂内 淳 榊原登志子 澤井 慧 西谷 徹 古川 陽菜			
調布市議会議員会委員		1 1	阿部 草太 井上 耕志 木下 安子 榊原登志子 澤井 慧 鈴木 宗貴 橘 正俊 古川 陽菜 宮本 和実 武藤 千里 渡辺進二郎			
三 多 摩 上 下 水 及 び	道 路 建 設 促 進 協 議 会	第 1 委 員	1 内藤美貴子			
		第 2 委 員	1 大野 祐司			
		第 3 委 員	1 西谷 徹			



## **【資料】 意見書・決議集**

○議員提出意見書・ . . . . .	61
○委員会提出意見書・ . . . . .	100
○決議・ . . . . .	101



## 統計調査の不正問題の徹底究明を求める意見書

厚生労働省の毎月勤労統計調査の偽装に端を発した統計不正問題は、雇用保険などで2,000万人以上の国民への給付減を発生させ、統計調査に対する国民の不信を高めている。

賃金実態などを示す毎月勤労統計の不正は、2004年から行われており、始まった動機や背景、それが長期に隠され続けた要因は依然として不明である。また、調査方式の変更をめぐる、4年前に当時の首相秘書官が調査方式についての「問題意識」を厚労省側に伝えていた事実だけでなく、「官邸関係者に説明をしている」などと書かれたメールが同省担当者から発信されていたことも明らかになった。安倍晋三首相や政府は、影響や関与、圧力を否定しているが、国民の疑念は払拭されておらず、調査方式の変更の経過を知る全ての関係者の国会招致、関連する資料の提出を初め、事実関係を徹底的に解明することは、最優先課題である。

よって調布市議会は、中立・独立性が求められる統計のあり方の根幹にかかわる大問題として、統計調査の不正問題の徹底究明を行い、統計調査への一刻も早い信頼回復を求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成31年 3 月 日 (原案否決)

調布市議会議長 田 中 久 和

提出先

内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣 衆議院議長  
参議院議長

沖縄県の辺野古新基地建設問題を，国民全体の問題として議論を  
することを求める意見書

沖縄では，1997年に普天間基地の代替え基地として名護市辺野古付近での建設が決定されて以降，約20年にも及ぶ建設反対運動が続いている。選挙においても，再三再四，辺野古新基地建設反対の住民の意思が示され，直近の知事選挙では，2014年，2018年と，続けて辺野古新基地建設反対の主張を掲げた知事が選出されている。

一方で国の機関である沖縄防衛局は，沖縄県による辺野古沿岸部の埋め立て承認撤回（2018年8月）への対抗措置として，国土交通省に対し行政不服審査法に基づく審査請求と執行停止を申し立て，国土交通大臣は執行停止を決定，工事は再開された。一連の手続は，2015年の埋め立て承認取り消し時と同様，本来国民の権利利益の救済を目的とした法律の使い方として，正当性に疑問を生ずるものとなっており，地方自治の侵害と指摘する声が上がっている。

また，辺野古の大浦湾の埋め立てにより，絶滅危惧種 260余を含む多様な生物群は危機的状況にあり，その上，軟弱地盤の改良工事に向けた設計変更など，環境面，財政面からも，合理性を欠いた計画と言わざるを得ない。

沖縄県議会は「辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票条例」を制定，全市町村参加のもと，2019年2月24日，県民投票を実施，結果は，投票率 52.48%，基地建設への反対票が 434,273（投票総数の7割以上）となり，改めて，沖縄県民の民意は明確となった。沖縄県民が，米兵による犯罪，米軍機墜落，騒音による健康被害，環境被害，有事の際の標的になることへの懸念等，さまざまな不安，危険にさらされて生活している当事者として，投票者の7割が，新たにつくられる米軍基地建設に反対する意思を表明したという現実には，真摯に向き合う必要がある。

沖縄県外の国民も，辺野古の問題を初めとし，沖縄に集中する米軍基地の現状を知る中で，普天間の危険除去のためには辺野古が唯一の解決策という政府の主張の妥当性にも疑問を感じ始めている。沖縄の民意や沖縄の歴史，

特に、沖縄に基地が集中した経緯を踏まえ、国民的議論を行い、解決への道を開きたいと考え、辺野古新基地の設置者、建設者に対して、下記事項の実現を図られるよう意見書を提出する。

#### 記

- 1 辺野古新基地建設を即時中止するとともに、普天間基地を撤去すること。
- 2 辺野古問題について、沖縄だけではなく、国民全体で議論を行い、解決の道を探ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成31年3月 日 (原案否決)

調布市議会議長 田中久和

提出先

内閣総理大臣 国土交通大臣 防衛大臣

## 食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書

まだ食べることができる食品が、生産、製造、販売、消費の各段階で廃棄されている、いわゆる食品ロスの削減は、今や我が国において喫緊の課題と言える。国内で発生する食品ロスの量は年間 646万トン（2015年度）と推計されており、これは国連の世界食糧計画（WFP）が発展途上国に食糧を援助する量の約2倍に上る。政府は、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」に沿い、家庭での食品ロスの量を2030年度までに半減させることを目指しているが、事業者を含め国民各層の食品ロスに対する取り組みや意識啓発は、今や必要不可欠である。

食品ロスを削減していくためには、国民一人一人がおのこの立場において主体的にこの課題に取り組み、社会全体として対応していくよう、食べ物を無駄にしない意識の醸成とその定着を図っていくことが重要である。

また、まだ食べることができる食品については、廃棄することなく、貧困、災害等により必要な食べ物を十分に入手することができない人に提供するなど、できるだけ食品として活用していくことが重要である。

よって国におかれては、国、地方公共団体、事業者、消費者等が一体となって食品ロス削減に向けての取り組みを進めるため、下記の事項について真摯に取り組むことを強く求める。

### 記

- 1 国、地方公共団体、事業者、消費者等の多様な主体が連携し、食品ロスの削減を総合的に推進するため、法律の制定を含めたより一層の取り組みを実施すること。
- 2 商慣習の見直し等による食品事業者の廃棄抑制や消費者への普及・啓発、学校等における食育・環境教育の実施など、食品ロス削減に向けての国民運動をこれまで以上に強化すること。
- 3 賞味期限内の未利用食品や備蓄品等を必要とする人に届けるフードバン

クなどの取り組みをさらに支援すること。

以上，地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成31年 3月26日

調布市議会議長 田 中 久 和

提出先

内閣総理大臣      文部科学大臣      厚生労働大臣      農林水産大臣  
経済産業大臣      環境大臣      衆議院議長      参議院議長

## 妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める 意見書

妊婦は診断が難しい疾患や合併症に見舞われる頻度が高く、胎児の発育に悪影響を与える医薬品もあり、診療には特別な注意が必要とされる。中には、妊婦の外来診療について積極的でない医療機関が存在していたことから、妊娠の継続や胎児に配慮した適切な診療を評価するため、平成30年度診療報酬改定において妊婦加算が新設された。

しかし、妊婦加算について、関係者に十分な説明がないまま実施されたことや、投薬を伴わないコンタクトレンズの処方に加算するなど、運用上の問題が指摘されている。加えて、妊婦が安心して外来診療を受けられる体制が整備されないまま、妊婦であるというだけで一律に加算されることについては、少子化対策の観点からも問題がある。

こうした指摘を受け、厚生労働省は昨年12月に平成31年1月1日からの妊婦加算の凍結を告示するとともに、改めて、中央社会保険医療協議会で、妊婦が安心できる医療提供体制の充実や健康管理の推進を含めた総合的な支援を議論することとした。

そこで、妊婦が安心して医療を受けられる体制の構築のために、下記の事項に取り組むことを求める。

### 記

- 1 医療現場において、妊婦が安心して外来診療を受けられるよう、特有の合併症や疾患、投薬の注意などについて、医師の教育や研修の体制を整備すること。
- 2 保健や予防の観点を含め、妊婦自身が、特有の合併症や疾患、投薬の注意などについて、あらかじめ知識を得ることができるようになること。
- 3 妊婦加算の見直しに当たっては、妊婦が加算分を自己負担することの影響にも十分配慮しつつ、開かれた国民的議論を行うこと。

以上，地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成31年3月26日

調布市議会議長 田中久和

提出先

内閣総理大臣 厚生労働大臣

## UR賃貸住宅ストックの活用を求める意見書

都市再生機構（UR）の賃貸住宅の設備は、全国的に老朽化してきており、居住者の高齢化も進んでいる。このため、高齢者向け優良賃貸住宅の家賃減額の継続や修繕など居住者の負担軽減に向けた対策などが求められてきた。

平成31年度予算案には20年間の家賃減額期間の終了時に現に居住する高齢者については、退去するまで家賃減額を延長することやバリアフリー改修に係る補助率の引き上げなどが計上されている。

さらに、平成31年度からは「UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン」が始まる。

そこで、UR賃貸住宅団地において、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まいとまちとなるよう、下記の事項に取り組むことを求める。

### 記

- 1 2033年度までに 250団地程度の地域医療福祉拠点の整備を着実に進めること。
- 2 団地機能の多様化に伴い高齢者や子育て支援施設の整備を進めること。
- 3 健康寿命サポート住宅の供給を拡充すること。
- 4 UR賃貸住宅ストックの活用にあたっては、地方公共団体や地域関係者との連携を図るとともに、住民の意見を丁寧に聞き取り居住の安定確保を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成31年 3月26日

調布市議会議長 田中久和

提出先

内閣総理大臣

国土交通大臣

## 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

平成14年、北朝鮮は拉致を認めて5人の被害者を返した。しかし、そのとき以降、5人の被害者の家族の帰国は実現したものの、いまだ政府認定の12名を初めとする拉致被害者が北朝鮮に残されたままである。

我が国の主権及び日本国民の生命と安全にかかわる拉致問題について、北朝鮮はこれまで極めて不誠実な態度をとり続けてきた。平成20年8月には日朝実務者協議において、一旦は、北朝鮮が拉致被害者に関する全面的な調査を行うことに合意したが、北朝鮮の一方的な通告により、合意事項が実施されていない状況が続いている。

また、北朝鮮は平成18年7月に弾道ミサイルを発射した後、国際社会から再三の警告にもかかわらず弾道ミサイルの発射を繰り返し、さらに核実験も実施してきた。

平成30年6月の米朝首脳会談において、朝鮮半島の非核化が宣言されたが、平成6年の核開発の凍結を定めた米朝の枠組み合意など、北朝鮮は過去の合意をことごとく破棄している。

拉致事件の発生から40年以上が経過しており、拉致被害者やその家族の置かれている状況を踏まえると、これ以上時間を費やすことは許されない。

よって調布市議会は、政府及び国会に対し、北朝鮮による日本人拉致被害者全員を一刻も早く救出し、拉致問題を完全に解決するため、日朝平壤宣言の精神に立って、拉致問題を初め、核問題などの包括的な解決を図るという立場を堅持し、6カ国協議の再開など、さらなる国際協調を図るとともに、制裁措置とあわせて対話を進めるなど、全力で取り組むよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年7月3日

調布市議会議長 渡辺進二郎

提出先

内閣総理大臣

総務大臣

法務大臣

衆議院議長

参議院議長

国会における憲法論議の推進と広く国民的議論の喚起を求める意見書

日本国憲法は、昭和22年5月3日の施行以来、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重の三原則のもと、我が国の発展に重要な役割を果たしてきた。この三原則は現行憲法の根幹をなすものであり、今後も堅持されなければならない。

現憲法は、今日に至るまでの約70年間、一度の改正も行われておらず、この間、我が国をめぐる内外の諸情勢に大きな変化が生じていることに鑑みれば、憲法についても、国家の基本法として、国民の安全を確保し、さらに、家族、環境などの諸問題や、切迫性が高まっている首都直下型地震や南海トラフ地震など大規模災害等への対応など、直面する諸課題に的確に対処し得る内容であることが求められる。

そのような中、国会では、平成19年の国民投票法の成立に伴い、憲法審査会が設置され憲法論議が始められている。

国家の基本規定である憲法は、その内容については、国会はもちろんのこと、主権者である国民が幅広く議論し、その結果が反映されるべきである。

よって調布市議会は、国会及び政府に対して、国の責任において日本国憲法についての活発かつ広範な議論を推進するとともに、国民的な議論を喚起すべく、広く周知を図ることを強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年7月3日

調布市議会議長 渡辺進二郎

提出先

内閣総理大臣 総務大臣 法務大臣 衆議院議長 参議院議長

## 年金制度の充実を求める意見書

公的年金の不足で、老後30年間の生活に2,000万円の貯蓄が必要だという、金融庁の審議会報告書と、その報告書の受け取りに関する安倍政権の態度が、今大きな問題になっている。

「100年安心ではなかったのか」「報告書をなかったことにすれば解決するのか」など、国民の怒り、不安が広がっている。

実際に、国民年金は、最高額でも月6万5千円しかなく、どんなに切り詰めても年金だけでは暮らせないのが現状である。厚生年金でも、年金だけでは生活できないため、多くの高齢者が働いているのが実態である。

その上、「マクロ経済スライド」という仕組みがあるために、年金が減り続けるという問題の解決も急がれる。

2004年、「100年安心」の名で導入された「マクロ経済スライド」は、長期に渡り年金額の抑制を行うものであり、そのもとで、公的年金では生活費が不足することは、そもそも政府が説明してきた。それを前提にして安倍政権は、未来投資戦略で「私的年金制度の普及・充実」を掲げ、選挙公約でも「つみたてNISA（少額投資非課税制度）をさらに普及」「私的年金の活用促進」を掲げてきた。

厚生労働省が提出した資料では、基礎年金（国民年金）給付額は、2040年時点で、本来約25兆円になるはずのものが、18兆円に抑制されることになっており、国民が真に安心するためには、年金制度の改善・底上げを図ることが不可欠となっている。

よって調布市議会は、制度の見直しを図り、国民が安心して生活できる減らない年金制度へと改善することを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年7月 日 （原案否決）

調布市議会議長 渡 辺 進二郎

提出先

内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣 衆議院議長  
参議院議長

## 児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

暴力を振るう、食事を与えない等の行為によって保護者が我が子を死に追いやるといった深刻な児童虐待事件が相次いでいる。こうした事態を防ぐため、国は虐待の発生防止、早期発見に向けた対応を行ってきたが、悲惨な児童虐待は依然として発生し続けている。

特に、昨年3月の東京都目黒区での女兒虐待死事件を受け、政府は同7月に緊急総合対策を取りまとめ、児童相談所の体制強化などを図る法改正案を今国会に提出することになっていた。その直前の今年1月、野田市で再び痛ましい虐待死事件が発生。児童相談所も学校も教育委員会も、警察も把握していながら、なぜ救えなかったのか。悔やまれてならない。

今国会に提出された児童虐待防止対策の強化を図るための児童福祉法等改正案の早期成立を求めるとともに、下記の事項につき、取り組みの推進を強く求める。

### 記

- 1 「しつけによる体罰は要らない」という認識を社会全体で共有できるよう周知啓発に努めるとともに、法施行後必要な検討を進めるとしている民法上の懲戒権や子どもの権利擁護のあり方についても速やかに結論を出すこと。
- 2 学校における虐待防止体制の構築や警察との連携強化、スクールソーシャルワーカーやスクールロイヤー配置のための財政的支援を行うこと。
- 3 虐待防止のための情報共有システムを全ての都道府県・市町村で速やかに構築ができるよう対策を講じるとともに、全国統一の運用ルールや基準を国において速やかに定めること。
- 4 児童相談所とDV被害者支援を行う婦人相談所等との連携を強化し、児童虐待とDVの双方から親子を守る体制強化を進めるとともに、児童相談所の体制整備や妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を行う日本版

ネウボラの設置推進を図ること。

以上，地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年7月3日

調布市議会議長 渡辺進二郎

提出先

内閣総理大臣 法務大臣 文部科学大臣 厚生労働大臣  
国家公安委員会委員長

## 選択的夫婦別姓制度の審議を求める意見書

2018年2月に内閣府が公表した世論調査では、夫婦同姓も夫婦別姓も選べる選択的夫婦別姓制度の導入に賛成・容認と答えた国民は66.9%となり、反対の29.3%を大きく上回った。特に多くの人が初婚を迎える30～39歳における賛成・容認の割合は84.4%に上る。

また同年3月20日の衆議院法務委員会において、夫婦同姓を義務づけている国は、世界で日本だけであることを法務省が答弁した。男女同権の理念の通り、2003年から日本政府に対して改善勧告を続けてきた国連女性差別撤廃委員会は、2016年3月の第7回及び第8回報告に対する最終見解において、改めて「女性が婚姻前の姓を保持できるよう夫婦の氏を選択に関する法規定を改正すること」を求めている。

1996年2月26日に法制審議会が民法改正を答申してから23年が経過しようとしているが、いまだ選択的夫婦別姓制度を導入する法改正の見通しは立っていない。最高裁判所は2015年12月16日に、夫婦同姓規定を合憲とする一方、「選択肢が設けられていないことの不合理」については裁判で見出すことは困難とした上で、「国会で論ぜられ、判断されるべき事柄にほかならない」と、民法の見直しを国会に委ねた。しかし3年以上にわたって議論が進まないために、2018年には選択的夫婦別姓を求める裁判が4件も提起されている。

平均初婚年齢が30歳前後の現代においては、婚姻前に個人名で信用・実績・資産を築く人がふえている。改姓によってこれまで築き上げたキャリアに分断が生じる例や、法的根拠のない旧姓の使用で不利益・混乱が生じる例は多く、それを避けるために結婚を諦める人、事実婚を選ばざるを得ない人が一定数いることは事実である。家族のあり方が多様化する今、最高裁判決の趣旨を踏まえて議論を進め、適切な法的選択肢を用意することは、国及び国会の責務であると考えられる。

よって調布市議会は、国及び政府に対し、選択的夫婦別姓を可能とする法制度の改正に向け、積極的な議論を推進するよう強く求める。

以上，地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年7月3日

調布市議会議長 渡辺進二郎

提出先

内閣総理大臣 総務大臣 法務大臣

## 公的年金制度に関する正確な情報発信を求める意見書

先般、「老後の生活資金が夫婦で 2,000万円不足する」とした金融庁審議会の報告書が波紋を呼んでいる。高齢者の家計は公的年金を柱に貯蓄、退職金といった金融資産の活用や就労によって賄われるなど世帯によって多様である。このような現実を十分踏まえることなく単純計算ではじき出した報告書は国民の誤解や不安を広げる不正確な表現であると指摘されている。

我が国の公的年金制度は基礎年金額の半分が税金で賄われている。近年、景気回復に伴う賃上げによって保険料収入はふえ、年金給付の財源の一つである年金積立金の運用額もこの6年間で44兆円のプラスとなり、年金財源は安定感を増している。また、将来の現役世代の負担が過重なものとならないよう最終的な負担（保険料）の水準を定め、その中で給付水準を調整するマクロ経済スライドを行うことで、年金制度の長期的な給付と負担の均衡が保たれている。

さらに、本年10月分の年金から低年金者に支給される「年金生活者支援給付金」も予定されており、申請漏れのないよう、正確な情報提供が求められている。

よって、政府に対し公的年金制度に関する正確な情報発信を求める。

- 1 公的年金制度の制度設計をわかりやすく正確に、広く国民に周知すること。
- 2 若者世代への公的年金制度の周知に努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年7月 日 （原案否決）

調布市議会議長 渡辺進二郎

提出先

内閣総理大臣

厚生労働大臣

私立幼稚園，小・中・高等学校就学者に対する公私間格差是正のための教育費助成と，私立幼稚園，小・中・高等学校に対する経常費補助の拡充及び教育環境整備費助成を求める意見書

教育環境の変化や深刻化する少子高齢化問題など，私たちを取り巻く社会環境は大きく変化してきている。こうした現状において，グローバルな人材育成のためのICT教育の環境整備など，将来を担う人材育成のための教育を充実させることが必要とされている。

このような中，幼稚園を含む私立学校はその特色を生かし，各校それぞれが個を重んじた建学の精神と教育理念に基づき，教育的な付加価値を追求するとともに，社会からの要請に応えるための努力を重ねてきている。そして，これまでも多くの卒業生を輩出し，公教育の一翼を十分に担ってきたところである。

しかしながら，保護者の負担となる教育費には公私間格差が生じており，私立学校に子どもを通わせている保護者にとって，現在の社会情勢・経済状況のもとでの学費の負担は大変厳しいものとなっている。これからも子どもたちに安心して十分な教育を受けさせるためには，教育費助成の持つ意義は従前にも増して高まっている。

また，少子化が進む中，私立学校における教育環境等の充実のためには，設置者に対する経常費補助の拡充及び教育環境整備費助成も必要である。

教育を受ける権利は，本来，国が保障すべきものであり，憲法及び教育基本法の精神にのっとり，次代を担う子どもたちの教育を受ける自由が経済的理由によって狭められることのないよう，体制の整備をしていくべきである。

よって調布市議会は，幼稚園を含む私立学校就学者並びに設置者に対して，下記事項の実現を図られるよう要望する。

記

- 1 私立幼稚園，小・中・高等学校就学者に対して，公私間格差是正のため

の教育費の助成を行うこと。

- 2 私立幼稚園，小・中・高等学校に対して，経常費補助の拡充及び教育環境整備費の助成を行うこと。

以上，地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年9月20日

調布市議会議長 渡辺進二郎

提出先

内閣総理大臣 文部科学大臣 財務大臣 東京都知事

## 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

東京・池袋で87歳の高齢者が運転する車が暴走し、母子2人が亡くなった事故以降も高齢運転者による事故が続いている。

近年、交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、75歳以上の高齢運転者の死亡事故の割合は高まっており、単純ミスによる事故も目立つ。

警察庁は、昨年末時点で約563万人いる75歳以上の運転免許保有者が、2022年には100万人ふえて663万人に膨らむと推計している。

こうした状況を踏まえ、国は17年施行の改正道路交通法で、75歳以上の免許保持者は違反時や免許更新時に認知機能検査を受けることを義務づけたが、今や高齢運転者の安全対策及び安全運転支援の取り組みは待ったなしの課題である。

また、過疎地域を中心に、いまだ「生活の足」として車が欠かせない高齢者も多い中、自主的に免許を返納した場合などの地域における移動手段の確保も重要な取り組みである。

政府におかれては、地方自治体や民間事業者とも連携しながら、総合的な事故防止策としての、高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、下記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

### 記

- 1 自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速を防ぐ機能など、ドライバーの安全運転を支援する装置を搭載した「安全運転サポート車」（サポカーS）や後づけの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の普及を一層加速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討すること。
- 2 高齢運転者による交通事故を減らすため、自動ブレーキなどを備えた「安全運転サポート車」（サポカーS）に限定した免許の創設や、走行できる場所や時間帯などを制限した条件つき運転免許の導入を検討すること。
- 3 免許を自主返納した高齢者が日々の買い物や通院などに困らないよう、

コミュニティバスやデマンド（予約）型乗り合いタクシーの導入など「地域公共交通ネットワーク」のさらなる充実を図ること。また，地方自治体などが行う，免許の自主返納時における，タクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。

以上，地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年9月20日

調布市議会議長 渡辺進二郎

提出先

内閣総理大臣 総務大臣 経済産業大臣 国土交通大臣  
国家公安委員会委員長

## 都営住宅居住者の修繕負担区分見直しについての意見書

都営住宅の修繕負担区分では、畳表や畳床の取りかえ、ふすま紙の張りかえ・取りかえ、壁の塗りかえ、水道蛇口の取りかえなどの修繕が居住者の負担とされている。都営住宅の居住者は、もともとの入居条件からして低所得であることに加え、年金生活者が増加し、所得は一層低下しており、修繕費負担は大変重いものとなっている。

さらに、都営住宅のうち、1981年以前に建てられた住戸でかつ、居住者が2008年度より前に入居した住戸については、浴槽と給湯設備の設置・取りかえは居住者の負担とされており、「風呂釜が壊れたが、まとまった費用が出せず困っている」「大変な思いをして取りかえたところ、1年後に建てかえに入ると知らされ、ショックで力が抜けた」など、深刻な状況も生まれている。2017年度末で、都営住宅のうち、都が浴槽・給湯設備を設置していない住戸は6万8千戸に上る。都公社一般賃貸住宅は大家である都住宅供給公社の負担で風呂釜・給湯設備を取りかえることになった。この措置について、都供給公社は、浴槽給湯設備が民間賃貸住宅の一般的な附属設備となっており、居住の安定確保、居住ニーズへの対応の観点からも都公社側の負担としたと説明している。都営住宅についても、こうした転換が求められている。

賃貸住宅の修繕の負担区分については、近年、大きな変化が生まれている。

国土交通省は2017年の民法改定に伴って、賃貸住宅の契約の参考にするための「賃貸住宅標準契約書」を改訂し、「畳表の取りかえ、障子紙、ふすま紙の張りかえ、給水栓、LED照明の取りかえ」を借り主がみずから負担してできる一覧表から外し、借り主の負担を軽減する見直しがなされた。

よって、都営住宅居住者の修繕負担区分の見直しを求めるものである。

- 1 都営住宅の修繕負担区分の見直しを、借り主負担を大幅に軽減する方向で見直すこと。
- 2 現在、浴槽と給湯設備を自己負担で更新する仕組みとなっている都営住宅について、都の責任と負担で更新を行うように見直すこと。

以上，地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年9月 日 (原案否決)

調布市議会議長 渡 辺 進二郎

提出先

東京都知事

幼児教育・保育の無償化に伴う給食食材料費の保護者負担軽減への東京都の支援を求める意見書

幼児教育・保育の無償化では、食材料費は無償化の対象外とされたことにより、保護者は食材料費の実費を負担することになったため、各市区町村では、それぞれの判断で独自に保育園等に対する補助を検討することとなり、各市区町村間で食材料費の保護者負担額が異なる状況が生じ、とりわけ財政力の違う23区と三多摩地域の自治体との格差が生まれようとしている。

よって、都において一律の制度を設けるべく、予算措置を講じることを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年9月20日

調布市議会議長 渡 辺 進二郎

提出先

東京都知事

## 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

地方創生の推進とともに，加速する人口減少社会への対応が，我が国の将来にとって喫緊の政治課題となっている。地方議会の果たすべき役割と責任は，ますます重要となる。

このような状況の中，地方議会議員は，これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向を酌み取り，的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

また，地方議会議員は，議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等さまざまな議員活動を行っており，近年においては全国的に専門化が進んでいる。

一方，今日では，就業者に占めるサラリーマンの割合は約9割にも達し，地方議会議員のなり手もサラリーマンからの転身者が増加している。

地方議会議員が厚生年金に加入できるようになれば，民間会社の社員等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができ，老後や家族を心配することなく選挙に立候補できる環境が整うことになる。多様で有為な人材の確保に大きく寄与すると考えられる。

よって，国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から，厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上，地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年9月20日

調布市議会議長 渡辺進二郎

提出先

内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 厚生労働大臣

衆議院議長

参議院議長

## 多摩川の総合治水対策を求める意見書

令和元年10月12日から13日にかけて関東地方を襲った台風19号は、調布市内においても多摩川に注ぐ「羽毛下幹線（根川雨水幹線）」の内水氾濫により大きな被害をもたらした。

多摩川流域は開発が進み、治水上の新しい課題に直面しており、地域の開発と河川改修を一体として考えた総合治水対策が必要である。

国及び東京都においては被災の状況を理解し、市民の安全・安心な暮らしの持続に向けた適切な対策や財政支援を求める。

- 1 多摩川の堤防強化や遊水地の整備等、河川改修を求める。
- 2 内水氾濫を防ぐための貯水施設等の整備を求める。
- 3 内水排除設備（排水ポンプ・排水ポンプ車等）の整備を求める。
- 4 多摩川流域地域の開発については、治水対策を視野に入れた適正な土地利用の誘導を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月18日

調布市議会議長 渡辺進二郎

提出先

内閣総理大臣 財務大臣 国土交通大臣 東京都知事

福島第一原発における処理水（トリチウム水）の処分方法について科学的根拠に基づき建設的な議論を求める意見書

我が国は2011年東日本大震災に起因する未曾有の原発事故を経験してから9年がたとうとしているが、被災地の復興が進む一方で、原発事故に起因し解決が先延ばしとなっている課題は山積している。

特に原発処理水については、原発の敷地内にあるタンクに貯蔵しており、その量は100万トンに及ぶ。タンクは約1,000基が設置されているが、廃炉を円滑に実施する上で、限られた敷地の中での増設は困難な状況であり、2022年夏ごろにはタンク容量が満杯となり限界に至ると公表されており、処理水の処分方法についてはいつまでも先延ばしにできない問題であると考えられる。

福島第一原発のタンクに貯蔵している処理水に含まれるトリチウムは、日本語では三重水素と呼ばれ、水素の仲間であり、自然界でも生成され、雨水や水道水、大気中にも存在している物質である。また $5.7 \times 10^{-9}$  %程度の極めて低い濃度であり、放射線のエネルギーが弱い上に、体内に取り込まれても速やかに排出される。

トリチウムを含む水分子だけを処理水から分離して取り出す方法も開発されているが、わずかな量のトリチウムを大量の処理水から取り出すには、膨大なエネルギーとコストが必要である。

国内の原子力施設では、東日本大震災以前から海洋にトリチウム水を放出している。また、国外においてもアメリカ、カナダ、フランス、韓国等の各国において自然環境中への放出が行われている。

よって、福島第一原発における処理水の処分方法について科学的根拠と国際基準に基づいて建設的な議論を推進することを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月 日 (原案否決)

調布市議会議長 渡 辺 進二郎

提出先

内閣総理大臣 経済産業大臣

## 東京都での公立学校教員への「1年単位の変形労働時間制」導入 をしないことを求める意見書

12月4日参議院本会議で公立学校教員に「1年単位の変形労働時間制」を導入することを盛り込んだ「公立学校教員給与特別措置法（給特法）改正案」が可決成立した。

教員の長時間労働を改善するためには、業務の抜本的縮減、教員の大幅増員とともに給特法の抜本改正こそ必要である。

同法案は教員に長時間労働の温床になっている給特法の枠組みには一切手をつけず、「1年単位の変形労働時間制」が8時間労働の原則を崩し、労働者に長時間労働を押しつけ、使用者の残業代節約に活用されているのが実態であり、政府は教員の過労死事案が多い4、6、10月などに所定労働時間を延長するとしており、現在の過労死の多い時期が4月から6月という実態から見ても矛盾が大きく、この変形労働制が実施されたならば、教員の過労死はさらに促進されてしまう。

また、「1年単位の変形労働時間制」は重大な労働条件の不利益変更であることから、労働基準法は労使協定の締結などを課している。しかし、この法律は、公立教員に対して労使協定を結ぶことなく条例で導入を可能にするものであり、労基法で守られている労働者の権利を脅かすものである。

国会の参考人からは、実施する場合には、導入前に自治体が勤務実態調査を実施し、国の指針を超える勤務実態が明らかとなれば導入は不可とすること、どういった場合に変形労働を加えられるのかを現状の給特法における超勤4項目と同じように明示すること、部活動顧問を望まない教員に職務命令で押しつけないことを明記すること、授業準備も労働であることを明記し定時内に授業準備をする時間が確保されるようにすること、定時後の残業に上限を設けた上で上限を超えた場合には、管理職に罰則を科すことなどの意見があった。

よって調布市議会は、以上の点について考慮し、東京都において公立学校教員に「1年単位の変形労働時間制」の導入をしないことを求めるものであ

る。

以上，地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月 日 （原案否決）

調布市議会議長 渡 辺 進二郎

提出先

東京都知事

## 「桜を見る会」問題の真相究明を求める意見書

各界の「功労者」などを招き，懇談する首相主催の「桜を見る会」は，第2次安倍政権以降，参加者・経費が急増している。

この問題は，東京新聞が4月に桜を見る会の支出が大幅にふえていることを報じ，国会議員が資料請求したその日に名簿をシュレッダーにかけたと政府が説明したことが始まりである。

「桜を見る会」は，各界の功労者等を招待者とし，内閣府がその取りまとめをするとしてきたが，安倍首相や自民党などが大量の招待枠を設け，功労者であるかどうかの確認もなく招待されていたことや，地元の支援者をもてなしていたこと，行政指導を受け，起訴された企業の役員や反社会的な団体の人物を安倍首相の招待で参加させていたことなどが次々と明らかになり，公金私物化の疑惑は深まるばかりである。

また，後援会主催の前夜祭での不明朗な会計処理，公職選挙法や政治資金規正法違反の疑いについても，領収書や明細書など必要な資料もなく，招待者名簿のデータも破棄したなど，「国民の税金を使って開催してきた」という自覚が欠落した内容に，国民が怒るのは当然である。

よって調布市議会は，「桜を見る会」問題の徹底的な真相究明，国民への説明責任を果たし，その責任をとるよう強く求めるものである。

以上，地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月 日 (原案否決)

調布市議会議長 渡 辺 進二郎

提出先

内閣総理大臣 総務大臣 法務大臣 外務大臣 財務大臣  
文部科学大臣 厚生労働大臣 農林水産大臣 経済産業大臣

国土交通大臣

環境大臣

防衛大臣

衆議院議長

参議院議長

## 「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書

本年8月、茨城県の常磐自動車道で、男性が執拗なあおり運転を受けて車を停止させられ、容疑者から顔を殴られるという事件が発生した。また平成29年6月には、神奈川県内の東名高速道路において、あおり運転を受けて停止した車にトラックが追突し、夫婦が死亡している。こうした事件・事故が相次ぐ中、「あおり運転」を初めとした極めて悪質・危険な運転に対しては、厳正な対処を望む国民の声が高まっている。

警察庁は、平成30年1月16日に通達を出し、道路交通法違反のみならず、危険運転致死傷罪や暴行罪等のあらゆる法令を駆使して、厳正な取り締まりに取り組んでいるが、いわゆる「あおり運転」に対する規定がなく、防止策の決め手とはなっていない。今後は、あおり運転の厳罰化に向けた法改正の検討や更新時講習などにおける教育のさらなる推進及び広報啓発活動の強化が求められるところである。

そこで政府におかれては、今や社会問題化している「あおり運転」の根絶に向け、安全・安心な交通社会を構築するため、下記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

### 記

- 1 「あおり運転」の規定を新たに設け、厳罰化については、危険運転を行った場合のみでも道路交通法上、厳しく処罰される海外の事例なども参考としながら、実効性のある法改正となるよう、早急に検討を進めること。
- 2 運転免許更新時における講習については、これまでの交通教則による講習に加え、あおり運転等の危険性やその行為が禁止されていること及びその違反行為に対しては取り締まりが行われることについての講習も行うこと。また、更新時講習に使用する教本や資料などに、これらの事項を記載すること。

3 広報啓発活動については、あおり運転等の行為が禁止されており、取り締まりの対象となることや、「あおり運転」を受けた場合の具体的な対処方法などについて、警察庁及び都道府県警察のホームページ、SNSや広報誌などを効果的に活用し、周知に努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月18日

調布市議会議長 渡辺進二郎

提出先

内閣総理大臣 国家公安委員会委員長

## 柔軟仕上げ剤などに含まれる香料の成分表示などを求める意見書

近年、柔軟仕上げ剤や芳香剤等に含まれる香料によって頭痛や吐き気など健康被害を訴える人が増加している。

日本消費者連盟が平成29年の7月と8月に2日間限定で実施した電話相談には、213件もの相談があった。

また、独立行政法人国民生活センター（以下「国民生活センター」という。）と全国の消費生活センターに寄せられる「柔軟仕上げ剤のにおい」に関する相談件数も年々増加している。平成25年9月には国民生活センターが「柔軟仕上げ剤のにおいに関する情報提供」を発表し、消費者に対して、においの強さや感じ方には個人差があることを認識し、使用量が過度にならないよう呼びかけた。

また、平成30年7月には石けんや洗剤などの生産者団体である日本石鹼洗剤工業会は、「衣料用柔軟仕上げ剤の品質表示自主基準」を改定し、柔軟仕上げ剤の容器等に、香りに関する注意喚起として周囲への配慮と適正使用量を守る旨を表示することとした。

よって、国においては、こうした現状を踏まえ、誰もが健康で安心して暮らせる社会の実現を図るため、香料の成分表示を義務づけることについて検討するなど、必要な措置を講ずるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月18日

調布市議会議員 渡辺進二郎

提出先

内閣総理大臣 厚生労働大臣 経済産業大臣 衆議院議長  
参議院議長

## 交通運賃割引制度に関する意見書

これまで精神障害者は障害者としての位置づけが非常に曖昧なまま障害福祉サービスから漏れており，精神障害者の団体等は，かねてより身体障害者・知的障害者と同じ障害者としての扱いとするよう要望している。今年からようやく都の制度の「医療費助成」が一部対象となることになった。「心身障害者福祉手当」についても身体障害者・知的障害者と同様のサービスを要望している。

同様のサービスとして「交通運賃割引制度」がある。ＪＲを初めとした全国の私鉄・船舶・高速道路などがほぼ対象となっており，既に身体障害者・知的障害者はサービスを受けているが，精神障害者は対象となっていない。

交通に関するサービスとしては，航空会社のＪＡＬグループ，ＡＮＡグループが既に精神障害者への割引制度を実施している。

よって調布市議会は，同様の視点からＪＲを初めとした各鉄道会社，バス・船舶・高速道路などの各社に対して，身体障害者・知的障害者と同等に精神障害者がサービスを受けられるよう，国会へ交通運賃割引制度の拡充を求める。

以上，地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和元年 7 月 3 日

調布市議会議長 渡 辺 進二郎

提出先

衆議院議長 参議院議長

## 天皇陛下御即位に関する賀詞決議

天皇陛下におかせられましたは、風薫るよき日に御即位されましたことはまことに慶賀にたえないところであります。

天皇皇后両陛下のますますの御清祥と、令和の御代の末永き弥栄をお祈り申し上げます。

ここに調布市議会は、市民を代表して謹んで慶祝の意を表します。

以上、決議する。

令和 元 年 9 月 2 0 日

調 布 市 議 会

登 録 番 号  
(刊行物番号)

2 0 1 9 - 1 8 9

---

## 平成31年・令和元年の議会活動

---

令和2年2月発行

発 行 調布市議会事務局

〒182-8511 調布市小島町2-35-1

TEL 042-481-7292

印 刷 庁内印刷

---

本書は、古紙配合の再生紙を使用しています。